

年報

2009

vol.7

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～



(財) 兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑

県立ささやまの森公園

県立丹波年輪の里

もくじ

森トピックス	2
活動方針	9

丹波の森公苑

■2009年度事業報告	
事業報告	11
講座一覧	34
出前講座の状況	40
活動・施設利用一覧	42
理事会・運営委員会の開催状況	51
■組織及び施設概要	
機能	56
沿革	59
施設の概要	60
組織と職員	62

ささやまの森公園

■2009年度事業報告	
事業報告	64
プログラム一覧	70
活動・施設利用一覧	75
運営協議会委員名簿	80
■組織及び施設概要	
機能	81
沿革	82
施設の概要	83
組織と職員	84

丹波年輪の里

■2009年度事業報告	
事業報告	86
事業一覧	90
活動・施設利用一覧	94
運営協議会委員名簿及び開催状況	101
■組織及び施設概要	
沿革	102
施設の概要	104
組織と職員	105

利用案内	106
------	-----

森トピックス

1. 丹波の森の祭典事業の実施

新たな「丹波の森づくり」がスタート

～合言葉は「もりびとになって、たんばらしさを楽しもう」～



たんばもりびとシンポジウム

平成20年度は丹波地域における地域づくりの指針である「丹波の森構想」の策定から20年の節目を迎え、「丹波の森構想評価・検証」し報告書にまとめました。今年、この「丹波の森構想評価・検証結果報告」を踏まえ、その推進母体である（財）兵庫丹波の森協会が中心となり、管内の県民、各種団体、NPO、行政などが力を合わせ、元気で美しい丹波づくりの新たなスタートを誓う契機として『丹波の森の祭典』を開催しました。

(1) たんばもりびと交流イベント

日時 5月30日（土）10：00～16：00

場所 丹波の森公苑

参加者 約7,000人

(2) たんばもりびとシンポジウム

日時 5月31日（日）13：30～16：00

場所 四季の森生涯学習センター

参加者 約400人

2. 丹波年輪の里を指定管理

3 施設を一体的に運営



丹波年輪の里 木の館

丹波の森構想の新たな展開に向け、丹波の森公苑、ささやまの森公園に加えて、丹波の森づくりの拠点施設である丹波年輪の里を平成21年4月1日より新たに兵庫丹波の森協会が管理することとなりました。

今後は、3施設が連携しての事業や取組内容の相互乗り入れなど、一体的な運営を行うことで、より住民の皆様の活動を支援していきます。

3. 「七夕」に子どもらとオオムラサキを初めて放蝶

丹波産オオムラサキの放蝶会を実施



放蝶会の様子

平成 19 年から専用のゲージを設置して増殖に取り組んできた丹波産オオムラサキの放蝶会「七夕に願いを込めて 里山に羽ばたけオオムラサキ」を7月7日に実施しました。

当日は、公募による一般参加者と崇広小学校3年生の児童たち総勢120名が参加して、河合雅雄名誉公苑長の話を聞いた後、童謡「蝶々」の替え歌の「オオムラサキのうた」や「七夕さま」を歌い、願い事を書いた短冊を篠竹に飾りました。フィナーレに虫かごやネット内の成虫67匹を一斉に里山に放ちました。

4. 丹波の森・ウィーンの森相互訪問

相互訪問により友好の絆をさらに強める



ウィーン市13区役所親善訪問

平成21年は、日本とオーストリアの間で修好通商航海条約が結ばれて140周年という節目の年を迎えました。これを記念して、7月11日、12日に友好親善提携先のウィーン市13区（ヒーヅィング）から、ゲルストバッハ区長をはじめ9名の皆さんが丹波の森を訪問されました。

一方、丹波からは第18回ウィーンの親善訪問の旅（10月13日～21日）を計画し、18名の訪問団がウィーンの森を訪れました。

5. 都市と農村のふれあい交流事業の推進

～「田舎暮らしは丹波で」丹波の魅力を発信～

たんば田舎暮らしワンストップ相談を開設



ワンストップ相談の様子

都市住民に丹波の魅力を紹介・案内し、丹波地域への移住を促すため、先輩移住者や地元サポーターと田舎暮らしを本音で語る「田舎暮らしフェア」をたんば・田舎暮らしフォーラム実行委員会や丹波県民局との共催で開催しました。

また、丹波県民局の委託を受け、NPO 法人たんばぐみと協働して、田舎暮らし体験や地域活動など田舎暮らしに関する相談・情報提供を行う「たんば田舎暮らしワンストップ相談」を5月1日から始めました。

6. 丹波の森若者塾の開催

～高校生と大学生が 丹波の“よさ”や“らしさ”を探求～



「佐治も町家交流ギャラリーづくりプロジェクト」
(氷上西高校生と関西大学生)

地元の高校生が大学生とともに“ふるさと丹波”の「よさ」や「らしさ」を探求し、自らのふるさとの魅力を再発見するとともに、将来の地域づくりの担い手としての人材育成を図ることを目的として、神戸大学農学部と関西大学環境都市工学部の協力を得て、当事業を賑やかに開催しました。

参加高校生は、大学生や地域住民を交えた協働作業から、丹波の良さや新しい魅力を発見し、地域づくりを視点とした世代間交流や大学生との知的交流を図ることができました。

協力大学 神戸大学農学部
関西大学環境都市工学部
参加高校生 篠山鳳鳴高、篠山産業高
篠山産業高東雲校、氷上西高

内容 ①「丹波の赤じゃがプロジェクト」
②「佐治の町家交流ギャラリーづくりプロジェクト」
③「合同フォーラム」

7. 篠山築城400年祭記念 講座「丹波学」の開催

(続) 丹波の城～篠山城築城400年～

篠山城築城400年を記念して実施

平成15年度の「城から見た丹波の森」、20年度の「もう一度学びたい丹波の城」に引き続き、「城」をテーマとして、今回は篠山城築城400年を記念して、丹波の城、とりわけ篠山城大書院にスポットをあて、篠山城の存在意義や美術、城下町等さまざまな切り口からより深く探求しました。



現地見学の様子（篠山城大書院）

- 1 篠山城と縄張り 岡野多目的研修センター館長 大路 靖 氏
- 2 篠山城大書院の障壁画 甲南女子大学教授 木村 重圭 氏
- 3 篠山藩主 松平氏・青山氏について
篠山市文化財保護審議会委員 今井 進 氏
- 4 篠山城下町の空間構造 大阪市立大学教授 仁木 宏 氏
- 5 丹波の城をめぐる篠山城跡と採石場
郷土史研究家 池田 正男 氏

8. 地域文化を考えるシンポジウムの開催

7年に一度の全県シンポジウムを丹波地域で開催

豊かな緑、特産物、文化遺産、最近では恐竜化石や国内最古級のほ乳類化石発見で注目される丹波の地に兵庫県内の各市町文化協会・団体の会長及び会員が一堂に会し、文化活動を通じてコミュニケーションを深め、真の豊かさの実現に向けた生活者としてのライフスタイルを創造するために開催しました。



パネルディスカッションの様子

1日目 10月25日(日)

基調講演 「丹波の森構想と文化林としての里山」

講師：河合雅雄氏（丹波の森公苑名誉公苑長）

パネルディスカッション

「地域の自然・文化遺産をいかしたまちづくり」

コーディネーター 中瀬 勲 氏（丹波の森公苑長）

パネリスト 金野幸雄 氏（篠山市副市長）

村上 茂 氏（丹波の恐竜化石発見者）

西尾 昭 氏（日本の童謡唱歌をひろめる会
運営委員長）

2日目 10月26日(月)

施設等見学：丹波の恐竜化石発掘現場、篠山城跡

9. 丹波の森国際音楽祭

シューベルティアードたんば2009の開催

今年も素敵な出会いをありがとう

本音楽祭は、音楽を通じた仲間づくりと、丹波地域の人々が自分たちの故郷の良さを見つめ直すきっかけになればと願いスタートしました。15回目となった今年はチェコから世界的トランペット奏者を招聘し、「ファイナルコンサート」を開催したほか、地域住民の企画・運営による「街角コンサート」や小・中学校での「キン・コン・カン・コンサート」も盛況の内に開催できました。

また、今回初めて協賛コンサートを開催した佐用町の一日も早い災害復旧を願い、コンサートを通して協力を募り、多くの方から支援を得ました。

今後も地域と地域、人と人をつなぐ架け橋となってシューベルトの仲間たちとともに交流の輪を広げていきます。



ファイナルコンサートの様子

10. 国蝶「オオムラサキ」の観察場を設置

「オオムラサキ」が飛びかう公園へ

国蝶「オオムラサキ」の幼虫から成虫を観察するため、植栽のエノキを手づくり網で囲む観察小屋（4m×4m）が完成しました。園内にはオオムラサキ幼虫の餌になるエノキの大木が1本あり、昨年の冬「丹波の森公園」の指導の下、大木のエノキの根元を調査した結果、幼虫が見つかりました。幼虫を冬越しさせ、春にゲージの中へ20匹の幼虫を放したところ、6月末には5匹の美しいオオムラサキの舞う姿を見ることができました。



手づくり網小屋とオオムラサキ

11. 園内に自生する樹木の

「樹木標本」が完成

代表的な樹木の名前を知ってもらおう



標本木の展示

「ささやまの森公園」には多くの種類の樹木があります。一般に知られる種類や貴重な種類など、公園に自生している樹木を約1mに切り、樹皮と年輪の断面を観察できるように加工し、約60種類の樹木標本を作製しました。

また、樹木名と葉の写真を添えて展示すると来園者が熱心に見られ、とても好評です。

12. 第22回丹波の森ウッドクラフト展

(おもちゃ大賞展)



一般の部 佳作
夢ゆらり 大森 恵さん(丹波市)



ジュニアの部 佳作
木の遊び場 足立有希さん
(当時：丹波市上久下小学校6年)

丹波からも入賞者

22回目を迎えた丹波の森ウッドクラフト展、一般の部は全国20の都道府県から65点、ジュニアの部では323点の作品の応募がありました。

一般の部では、初出展者からの応募も多く、質、レベルとも高水準の作品が目立ちました。ジュニアの部では、より発想豊かな作品や工夫を凝らした作品が増え、技術的な向上がみられます。また、学校や学年全体での木工への取り組みも目立ち、子どもの頃から木を使う「木育」の取組に期待が寄せられています。

併行して開催した展示会にはたくさんの来場者があり、木の温もりや自らの手でものを作る創造の喜び、愉しさを伝えることができました。

13. アートクラフトフェスティバル

in たんば2009の開催

好天に恵まれ多くの人で賑わう



芝生広場で展示

10月3日～4日、地元丹波地域をはじめ、近畿府県や山梨、広島など、全国各地の木工や陶磁器、布など様々なジャンルのクラフト作家たち177名が集まり、年輪の里の芝生広場や木陰で展示販売を行いました。

当日は好天に恵まれ、作家と来演者との交流・会話も弾み、近年最高の13,300人の入場者で賑わいました。

活動方針

■基本方針

財団法人兵庫丹波の森協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立、平成2年に法人化され今年で20年が経過した。

この間、「丹波の森公苑」と「ささやまの森公園」及び「丹波の森研究所」を運営管理するとともに、兵庫県、篠山市、丹波市や住民と連携しながら幅広い世代が取り組む多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援・推進してきた。

平成21年度は、平成20年度において実施した「丹波の森構想評価・検証事業」の結果や、新たな展開方向を踏まえ、元気で美しい丹波づくりの新たなスタートを誓う「丹波の森の祭典事業」や、丹波の森づくりの担い手を育成する「人材活用推進事業」「丹波の森サマーセミナー事業」等に取り組むとともに、子ども達が丹波の自然や環境を学ぶ「里山とのふれあい事業」の一層の推進を図っていき、丹波の森づくりの先導的な役割を担っていく。

また、地域の人々が主体的に進める丹波の森づくり活動の新しい展開と、実践活動を推進するため、「丹波の森公苑」と「ささやまの森公園」新たに「丹波年輪の里」の3つの県立施設を一体的に運営することで、情報提供や相互乗り入れなど住民への活動支援を図っていく。

具体的には、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を目指して、次の4つのテーマを設定し、事業や取り組みを推進する。

■4つの推進テーマ■

●森林文化の創造

...

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するため、魅力ある地域づくりや豊かな里山づくり、里山とのふれあい事業の推進など**森林文化の創造**に取り組む。

●生活創造活動への支援

...

多彩なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、暮らしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など**生活創造活動への支援**を行う。

●芸術文化の振興

...

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など**芸術文化の振興**を図る。

●施設の利用促進

...

生活創造活動・地域づくりの広域拠点として総合的な情報を地域内外に発信するとともに、利用者により親しまれる施設づくりを進め、**施設の利用促進**を図る。

【丹波の森構想】

①自然と共に生きる地域社会の実現

人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。

②潤いと安らぎのある地域社会の実現

素晴らしいふるさと景観をかげがいのない共有財産とする共通認識にたつて、環境や景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎのある豊かな地域社会の実現をめざします。

③活力のある開かれた地域社会の実現

地域風土を生かし、文化の十字路として、新しい地域文化を創造し活力のある開かれた地域社会の実現をめざします。

■みんなで丹波の森づくり■

丹波地域のすぐれた自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森（地域）づくりを推進するため、次の広域団体が事務局を丹波の森公苑に設置し、（財）兵庫丹波の森協会とともに参画と協働による地域づくりを推進しています。

○こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

丹波地域の各種団体の中間支援組織として各団体と重層的なネットワークを築きながら、連携・協働して“こころ豊かな美しい丹波”の実現を図る。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、地域団体活動パワーアップ事業 ・県民運動E-news、情報誌「ネットワーク」丹波頁の発行 ・森のe～なかまの利活用促進の啓発
-------	---

○丹波文化団体協議会

丹波（篠山市・丹波市）地域内の文化団体が相互の緊密な連携のもとに研修を深め、芸術・文化の振興を図り、もって地域文化の向上に寄与する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波文化活動交流会 ・ふるさとの心うたう丹波音楽祭 ・丹波の森フェスティバル（丹波市茶華道連盟によるお茶席）など
②協賛事業	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば ・市民創作オペラ「おさん茂兵衛 丹波歌暦」
③兵庫県地域文化団体協議会関係事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化を考えるシンポジウム

○丹波消費者団体連絡協議会

丹波地区の消費者団体相互の連絡を密にし、消費者活動の推進を図る。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしのクリエイター研修、地域別学習会、金融学習会 ・夏の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・冬の買い物袋持参運動店頭キャンペーン ・丹波の森「消費者のつどい」、「おいしいごはんを食べよう県民運動」の推進 ・丹波の食育を推進する「こども料理教室」の開催
-------	---

○丹波青少年本部

青少年の健全育成にかかる行政・団体等が連帯して、青少年の健全育成活動を強力に推進する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごハート・ブリッジ運動の推進、子どもの冒険ひろば事業の支援 ・若者ゆうゆう広場事業の支援、たんば子ども塾・丹波の森若者塾の開催 ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進 ・こころ豊かな人づくり 500人委員丹波OB会活動の支援 ・たんば青少年環境浄化啓発活動の支援 ・第11期こころ豊かな人づくり 500人委員会の開催
-------	---

○兵庫県生きがい創造協会丹波支部

丹波（篠山市、丹波市）地域の高齢者大学・講座と連携し、地域のニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発・普及する。

①実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会、高齢者学習研究協議会 ・高齢者大学OB会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業 ・学ぶ高齢者のつどい中央大会への参加 ・兵庫県高齢者学習研究協議会ブロック代表者会議
-------	---

※他のグループ活動については、丹波の森公苑ホームページの“森のe～なかま”をご覧ください。

(URL : <http://www.tanba-mori.or.jp/bbs/index.html>)

丹波の森公苑 事業報告

2009 年度に実施した丹波の森公苑の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

<p>森林文化(地域づくり)の創造 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援 ・ウーンの森親善訪問事業の実施 ・都市と農村のふれあい交流事業の実施 ・「丹波の森の祭典」事業の実施 ・丹波の森フェスティバルの開催 ・丹波の森研究所の活動 ・花づくり研究員活動支援事業の実施 ・里山ボランティア養成事業の実施 ・丹波の森公苑環境学習推進事業の実施
<p>生活創造活動への支援 14</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活創造活動支援機能充実事業の実施 ・地域づくり活動サポーターによる地域活動支援 ・地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」の開設 ・地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」の開設 ・講座「丹波学」の開設 ・県立大学特別公開講座の開設 ・消費生活相談の実施 ・消費生活情報の提供 ・「くらしの通信講座」の開設 ・丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし(第10集)の編集 ・トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ ・丹波の森「サマーセミナー」の開設 ・丹波の森美術学校の開設 ・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開設
<p>芸術文化の振興 10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シューベルティアーデたんば2009の開催 ・舞台芸術鑑賞機会の提供 ・ふるさと心をつたう丹波音楽祭の実施 ・丹波文化活動交流会の実施 ・丹波合唱講習会の実施 ・丹波の森演劇祭の開催 ・丹波の森アートフェスティバルの開催 ・丹波の森写真展の実施 ・直木賞作家北原亜以子氏出版記念会開催 ・食文化講座の開設
<p>施設の利用促進 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌、年報等の発行
<p>丹波県民局等との連携 14</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民交流広場事業の推進(丹波県民局) ・地域ぐるみ安全対策の推進(丹波県民局) ・子育て応援ネット事業の実施(丹波県民局) ・たんば田舎暮らしワンストップ相談の実施(丹波県民局) ・県民交流広場を活用した農産物直売と農の体験交流事業の推進(丹波県民局) ・地域団体活動パワーアップ事業の実施(こころ豊かな美しい丹波地域推進会議) ・こころ豊かな人づくり500人委員会の運営(丹波青少年本部) ・たんば子ども塾の開催(丹波青少年本部) ・子どもの冒険ひろば事業の支援(丹波青少年本部) ・丹波の森若者塾の開催(丹波青少年本部) ・若者ゆうゆう広場事業の支援(丹波青少年本部) ・丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進(丹波青少年本部) ・青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進(丹波青少年本部) ・高齢者の生きがい創造の推進(兵庫県生きがい創造協会丹波支部)

森林文化(地域づくり)の推進

丹波の森大学（第19期）の開設及び専科生への研究支援

◇実施内容

丹波の森構想に沿った個性的な地域づくり、それを支える人づくり、環境づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を組み合わせた講座を10回開催し、その内1回を公開講座として広く市民の参加を呼びかけました。

普通科コース 全10回講座 107人受講

7月3日（金）～12月11日（金）

（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

丹波の森構想評価・検証を踏まえ、「もりびとになって、たんばらしさを楽しもう」を合言葉に、新たな丹波の森づくり、地域づくりの方向性を提案しました。

◇22年度の予定

引き続き実施していきます。



講座の様子

協会事務局

丹波の森フェスティバルの開催

◇実施内容

（財）兵庫丹波の森協会設立20周年、「丹波の森構想」策定後20年に当たることから、これまでの歩みを振り返り丹波地域の魅力を再発見するとともに、緑豊かな自然の中で地域や世代を越えた多くの人々の参加により、都市との交流とふれあいの場となる多彩な記念事業を実施しました。

内 容

11月1日（日）

ふれあい交流広場

活動発表コーナー、遊びのコーナー

特産市コーナー、フリーマーケット

里山ハイク、お茶席ほか

参加者：約4,000人



主幹苑路の様子

◇成果（自己評価等）

都市部や幅広い分野からの参加があり、秋のシンボルイベントとして定着してきました。

◇22年度の予定

引き続き実施します。

丹波の森フェスティバル実行委員会

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

■集落活性化支援方策の検討

「丹波地域集落活性化戦略調査」（平成 18 年～20 年度）の成果を具体化・推進するために、地域の高齢化の状況やニーズの把握とカルテ化、集落活性化研究会やアドバイザー派遣の検討など、平成 22 年度に予定している「集落活性化支援事業」に向けた基礎的調査や方策の検討を行いました。

■人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）

地域の資源や人材を活用した「参画と協働」の地域づくりが求められている中で、地域の実情に明るく、地域づくり等に関する知識・技術を有する人材（市民研究員）を地域で主体的に活用する制度を整備し、5 地域に派遣しました。

■恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業（丹波県民局等からの受託事業）

昨年度、兵庫県丹波県民局、篠山市・丹波市、県立人と自然の博物館、地元関係団体等の参画のもと、恐竜・哺乳類化石、溪谷景観、伝統的な文化や活動等を活かしたまちづくり計画書を策定しました。これを推進するために、「恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくりプロジェクトチーム」や「分野別検討グループ」の運営、「丹波並木道中央公園での恐竜化石発掘体験の指導（写真）」や「地域環境基礎調査」、「地域再生を担う人づくり支援調査事業」の実施を行いました。また、恐竜化石等を活かしたツーリズム開発のために、約 90 名のモニターによる日帰り旅行の印象や提案の分析・まとめ等の「丹波路魅力発見ウォーク調査」を実施しました。



■企業と住民の協働による企業の森づくり事業、集落活性化モデル事業

（丹波県民局からの受託事業）

昨年度策定した「企業の森づくりガイドライン」の本格実施に向けて、5 地区において先行的に取り組む企業と集落の初動期の活動を支援しました。また、企業と集落のマッチングを行うため、アンケート調査を通じて、農山村をフィールドとして社会貢献活動等を希望する企業とそのニーズ、状況等の分析・把握を行いました。

■脊椎動物化石及び脊椎動物化石含有地保護・活用計画策定業務（篠山市からの受託事業）

篠山市内で発見された小型脊椎動物の化石により、保護活用に係る今後の方向性を記した中間報告書にもとづき、今後の保護・活用推進方策、拠点施設整備方策などについて検討を行い、アクションプログラムとしての「保護・活用計画」を策定しました。

■丹波市地球温暖化防止活動啓発ホームページ作成業務（丹波市からの受託事業）

市内にある本州一低い中央分水界の低地帯「氷上回廊」を、地球温暖化防止のシンボルとして“丹波らしい”この地域性豊かで独特の生物多様性を中心に、丹波市の環境について全国に向けて発信するホームページを作成しました。

丹波の森研究所

花づくり研究員活動支援事業 「花と緑の教室」「園芸教室」の実施

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

(花と緑の教室)

開催日 毎月原則第2木曜日

受講者 午前・午後の部 計92人

参加者数 延べ907人

(園芸教室)

4回(10月～11月) 52人/1回 延べ169人

◇成果(自己評価等)

地域住民の参加希望が多く、年間を通じた活動により、各参加者の花づくりを通じた交流が深まっている。

◇22年度の予定

引き続き、長期(1年)講座に加え、短期講座を開催するなど、住民ニーズに沿った展開を図る。



寄せ植えづくり実習

森づくり課

里山ボランティア養成事業の実施

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、森づくりの技法・知識、森を活用したソフト事業のノウハウを習得し、森を守り育てる人材を養成しました。

- ・第10期森づくりスタッフ活動
年間12回実施 スタッフ数34人
森づくり活動アドバイザー2人設置
学校や団体等の森づくり・環境学習活動を支援
- ・里山倶楽部による森づくり活動を支援

◇成果(自己評価等)

本苑の里山を拠点として、多彩なボランティア活動が展開され、丹波地域外からの参加者も増え、都市との住民交流も深まっている。



里山整備の様子

◇22年度の予定

新たに第11期森づくりスタッフを募集し、一層充実した活動を展開する。

森づくり課

丹波の森公苑環境学習推進事業の実施

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を活かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の環境学習・自然体験活動の支援ボランティアを育成しました。

- ・丹波縄文の森塾の開設
年間 10回（うち1回は2泊3日のキャンプ）
塾生 25人（小学3～6年生）延べ365人
うちキャンプの参加者 18人
- ・環境体験プログラム
メダカの棲む環境調査
親水公園を活かした生き物調査
春の山菜採取と里山散策
- ・家族向け環境学習プログラム
オオムラサキ観察会、放蝶会
里山ふれあいハイキング
ビツ栗の森栗拾い体験
- ・小学校等の環境学習実践講座
- ・自然体験活動リーダーの育成

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、今年度2年目の通年での事業展開となり、塾生も1年間の四季の動植物の観察や様々な体験をし、他校の友達との交流も深まった。



キャンプでの筏遊びの塾生たち

◇22年度の予定

丹波縄文の森塾は、引き続き通年開催として実施する。

環境学習については、積極的に受け入れる。

森づくり課

生活創造活動への支援

生活創造活動支援機能充実事業の実施

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

○生活創造ニュース「たんば.COM」の編集
活動事例紹介と消費者相談コーナー

○生活創造グループ登録と活動支援

登録グループ数 186団体

グループ活動コーナーの利用

176件 912人

情報発信のための印刷機械の利用件数

605件



グループ活動コーナー

◇22年度の予定

引き続き、団体・グループ活動を支援する。

県民協働課

地域づくり活動サポーターによる地域活動支援

◇実施内容

「こころ豊かな美しい兵庫」をめざす県民運動を積極的に推進するため、多様な活動団体等のつなぎ役として活動する地域づくり活動サポーターを設置し、地域づくり活動を支援しました。

◇成果（自己評価等）

地域づくり活動団体やNPO法人に対して、情報発信や相談・アドバイスなど、様々な支援を行ないました。

また、各地域の公民館担当者とも連携して県・市の施策、活動団体の様子など情報交換を行いました。

◇22年度の予定

引き続き、地域づくり総合コーディネーター（名称変更）を設置し、県民運動を支援する



公民館担当者との情報交換の様子

県民協働課

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座 「丹波OB大学」の開設

◇実施内容

高齢者の生涯学習の一環として、交流と学習の機会を提供するとともに、魅力ある地域社会を創り出す実践者を育成するため実施しました。

講座 教養講座

専門講座（①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース）

学外研修、運動会、文化祭、オープン学習、地域実践の日、学年別研修、地域別研修
クラブ活動（グラウンドゴルフ、歌謡教室、絵手紙、ダンス、花づくり）

受講者数 200人

開講日 5月13日～2月24日（全17回）

日程 9:30～朝の集い
10:30～教養講座など
13:00～専門講座など
14:30～クラブ活動

（詳細は講座一覧に掲載）



オープン学習の様子

◇成果（自己評価等）

4年生大学の特色を生かして、学年ごとのつながりを深めようとする取り組みが活発に行われ、運動会や文化祭もすばらしいものになりました。「地域への貢献」を意識した活動も質の高いものが展開されています。

◇22年度の予定 5月12日～3月9日

文化振興部

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座 「丹波OB大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講座 1年次 8人 講義、ワークショップ、
インターンシップ

2年次 4人 講義、地域実践活動

開講日 6月3日～2月24日

（1年次17回、2年次17回）

（詳細は講座一覧に掲載）

◇成果（自己評価等）

2年生は、「丹波・篠山郷土の歴史再発見」をテーマに2グループに別れ、紙芝居とスライドを作製しました。

紙芝居班は、「丹波の昔ばなし」を題材に、幅広い年齢層が楽しめる紙芝居作りを、スライド班は、丹波・篠山の有名な人物・建築物を紹介し、郷土愛を深める作品を作製することができました。



地域実践活動の様子（福祉施設訪問活動）

1年生が行ったインターンシップでは、受講生の自主性を重視し、計画・実践・振り返りを行いながら、実践力を高めることができました。

◇22年度の予定 5月12日～3月9日

文化振興部

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見などを通じて、伝統文化等を活かした地域づくりに結びついた学習の機会を提供することを目的に、平成21年度は篠山城築城400年を記念して、「(続)丹波の城～篠山築城400年～」をテーマに、平成20年度に引き続き篠山城にスポットをあて、更に深く篠山城を掘り下げる講座を開講しました。

講義回数 5回

参加者数 64人

(詳細は講座一覧に掲載)

◇成果(自己評価等)

丹波の城、とりわけ篠山城大書院にスポットをあて、篠山城の存在意義、美術、城下町等の様々な角度からより深く探求しました。特に、伝統的な住宅建築が減少し、村落景観が自然との調和を失いつつある現在、文化景観や生活文化に密接に関わる丹波の城を再度見直すことは非常に有意義な機会となりました。



篠山城見学《現地学習の様子》

◇22年度の予定

京都丹波と連携をはかり、10月から来年3月にかけて実施する。

3月には、京都丹波の亀岡市でフォーラムを実施する。

文化振興部

県立大学特別公開講座の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、また、地域に開かれた大学として地域社会への貢献に資するため、大学の研究成果を判りやすく紹介し、現代の社会や世界の動向を理解する上で役立つ知見を提供するために実施しました。

テーマ 「人の暮らしと野生動物との関わり」

講演回数 3回

受講生 24人(内21人修了証書授与)

(詳細は講座一覧に掲載)

◇成果(自己評価等)

野生動物の生態や被害の現状について、丹波地域の状況も交えながら身近な問題として捉えることができました。また、野生動物の生息地である森林環境と人の暮らしや野生動物との関係について、より良く共生していくための指針となる話を聞くことができました。



講演の様子

◇22年度の予定 5月22日～6月5日

文化振興部

消費生活相談の実施

◇実施内容

商品やサービスに関するトラブルをはじめ食に関する相談など、暮らしに関する様々な問い合わせに対して、生活情報活動アドバイザーが相談を実施しました。

【電話相談】火曜日～金曜日 9時～17時15分

【面接相談】火曜日～日曜日 9時～17時15分
(年末年始を除く。土日は要予約)

◇成果（自己評価等）

平成21年度の相談受付件数は487件（うち苦情件数は414件）で、前年度と比較すると、114件（△19.0%）減少した。これはセミナーや出前講座など消費者にさまざまなトラブルについて周知したためと思われる。しかし、携帯電話やインターネット関係のトラブルは依然として後を絶たない。

◇22年度の予定

引き続き相談を実施する。



相談や問い合わせに応じている様子

相談担当

消費生活情報の提供

◇実施内容

消費トラブルの未然防止を図るための相談情報、関係法の解説、消費者団体の動向、講座案内などの情報を市・警察・マスコミなどに提供しました。

- ・「消費生活相談」
年6回 1,150部発行
- ・「情報活動にゆーす」
年4回 1,350部発行

◇成果（自己評価等）

相談情報が新聞記事や市・団体の広報紙に掲載され、消費者被害の防止につながりました。また、出前講座も32回実施しました。

◇22年度の予定

情報紙の発行方法を見直す。
出前講座を引き続き実施する。



情報誌「消費生活相談」・「情報活動にゆーす」、配布物

相談担当

生活創造活動支援事業 「くらしの通信講座」の開設

◇実施内容

9月～2月の間、「悪質商法から身を守るために」、「知っておきたい！いまだきクレジットカード事情」、「環境新時代」、「食の安全・安心を確保するために」、「くらしに役立つ法律」をテーマにテキストを5回送付し、それぞれの課題への解答を求めるとともに、スクーリングとして講演会「悪質商法とクレジットカード（講師 神戸さきがけ法律事務所 上田孝治弁護士）」を実施しました。



◇成果（自己評価等）

いろいろな内容を気軽に自宅で学習する講座として、募集人員100人に対して70人が受講し51人が修了しました。

「くらしの通信講座」スクーリング

◇22年度の予定

引き続き通信講座を実施する。

相談担当

丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし（第10集）の編集

◇実施内容

丹波の子ども達が心豊かに育ってほしいという願いから、丹波に伝わるむかしばなしを刊行するため、編集委員会を設置し、篠山市7話、丹波市8話、郷土で伝わることわざの計16話を第10集として発行しました。

発行部数 2,000部

◇成果（自己評価等）

むかしばなしの素晴らしさが地域に浸透し、子どもたちばかりでなく、あらゆる世代に親しまれています。

◇22年度の予定

12年越しで計119話を収録、10集を完成したことから、「丹波のむかしばなし」シリーズは完結といたします。



第10集の表紙

協会事務局

トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ

◇実施内容

職業体験の場の提供を通して、森公苑をよりよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設利用促進を図る機会として実施しました。

○トライやる・ウィーク2009（中学生）
受入人数 8人（柏原、山南、氷上、市島中学校）

受入期間 6月2日～6日

体験内容 丹波の森公苑の利用促進を図る活動（樹木札、環境整備等）

○インターンシップ2009（高校生）

受入人数 3人（篠山産業高等学校）

受入期間 11月10日～13日

体験内容 丹波の森公苑の利用増進を図る活動（苑内樹木調査、事業看板作成、環境整備等）



樹木名札づくりの様子（トライやる・ウィーク）

◇成果（自己評価等）

丹波の森公苑をよく知ってもらうとともに、中高生の視点から施設の魅力を提案してもらう場とすることができました。

◇22年度の予定

受け入れを継続し、様々な体験活動を提供する。

企画・調査課

丹波の森サマーセミナーの開設

◇実施内容

丹波地域出身で世界的に活躍している科学者等を講師として招き、専門の内容だけでなく、なぜ研究者になったか、研究者になるまでの道のり、今後の研究目標など研究者としての生きざまをテーマにした講座を実施し、次代を担う子どもたちの職業観について考える一助とするとともに地域の中高生に夢と希望を与える。

①実施日 8月12日

②講師 中野貴志（理学博士）

③テーマ 超入門 時空の物理学
～きみにも分かる相対性理論～

④受講者数 中高生 29人

⑤受講料 無料

◇成果（自己評価等）

講義内容は若干中高生には難しい部分もあったようだが、質疑応答において、素朴な質問がたくさん出されるなど、日頃、聞くことのできない科学や研究者の世界について興味深く聞きいる受講生が多かった。



講義の様子

文化振興部

丹波の森美術学校の開設

◇実施内容

芸術家を志す人に「創作の場」を提供し、次代を担う芸術家を育むとともに、子ども達が造形の楽しさを体験することを通して豊かな感性を育み、健全な青少年の育成に資することを目的として実施しました。

①丹波の森子ども美術クラブ

「ゆらゆらどうぶつの森をつくろう！！

～段ボールアートで作った動物達～

開催日 8月21日、8月22日、8月25日

開催回数 3回(2コース、2日間)

参加者 小学1年生～6年生 32人

②アトリエアーティスト

井上 奈奈(現代アート作家)

滞在期間 8月9日～8月25日

滞在场所 アトリエ彫刻棟

◇成果(自己評価等)

大きな段ボールに描いた動物の絵を天井から吊し、ゆらゆら動く立体アートを制作しました。空間芸術というものを初めて体験した児童も多く、展示室を歩き回り、大作の完成に感慨深い様子でした。



子ども美術クラブの様子

◇22年度の予定

- ・丹波の森子ども美術クラブ
8月18日、19日、20日、26日、28日
(3コース・3日間)
- ・アトリエアーティスト
別府 充貴(金沢美術工芸大学 学生)
(7月23日～9月20日 滞在)
- ・兵庫教育大学連携事業 丹波の森美術学校
8月5日、6日、28日

文化振興部

芸術文化の振興

舞台芸術鑑賞機会の提供

PAC子どものためのオーケストラコンサート

◇実施内容

子どもたちが本物に触れ、感動を味わい、また、親子が楽しい時間を共有できるように、兵庫芸術文化センター管弦楽団による演奏会を実施しました。

PAC子どものためのオーケストラコンサート

開催日 平成22年3月20日（土）

会場 丹波の森公苑ホール

入場者数 641人

◇成果（自己評価等）

迫力あるオーケストラの音楽を体感できたことに、参加者は満足されていました。子どもたちに馴染みのある曲が選曲され、楽器紹介、指揮者体験といった楽しいプログラムで、大好評でした。再演を望む声が多数ありました。



コンサートの様子（指揮者体験）

◇22年度の予定

子どものための優れた舞台芸術体験事業
ミュージカル「メッセンジャー」

開催日 平成22年10月19日（火）

会場 丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

ふるさとの心をうたう丹波音楽祭の実施

（第37回篠山・丹波合唱祭）

◇実施内容

丹波地域で活動している音楽活動団体に対し、公演と交流の場を提供することにより、活動団体の育成と芸術文化活動の向上発展を図りました。

開催日 11月15日（日）

会場 丹波の森公苑ホール

内容 丹波地域24団体による合唱祭

参加者 620人（出演者含む）

◇成果（自己評価等）

37回目を迎え、秋の恒例行事として定着しています。丹波地域で活動している音楽団体が一堂に会し、日頃の練習の成果を発表し、交流の場とすることができました。質の高い発表会であり、相互に刺激を受け、活動意欲の喚起に寄与しています。



発表公演の様子

◇22年度の予定

開催日 11月21日（日）

会場 丹波の森公苑ホール

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業 丹波文化活動交流会の実施

◇実施内容

丹波文化団体協議会会員を中心とする作品展示及び公演

開催日：12月4日～12月6日

会場：丹波の森公苑

①創作展示の部：書、水墨画、着尺、生け花、彫刻、丹波竜情報

作品数：約130点

②創作展示部門体験・実演・解説コーナー

③公演の部：日本舞踊、民謡、謡曲、詩吟尺八、吹奏楽、歌唱など22団体

参加者：のべ700人

◇成果（自己評価等）

丹波地域で特色のある文化活動の発掘と発表・交流の場を提供するとともに、文化活動の裾野の拡大と地域文化の活性化を図ることができました。



体験コーナー：水墨画

◇22年度の予定

12月3日（金）～5日（日）

文化振興部

丹波地域ふるさと芸術文化振興事業

丹波合唱講習会の実施

◇実施内容

丹波地域の合唱愛好家の育成と資質の向上を図るため、合唱法及び日々の練習方法等について研修を深めました。

開催日：平成22年3月14日（日）

会場：丹波の森公苑多目的ルーム

内容：合唱法、練習方法等の研修

講師 大阪府合唱連盟理事長
清原 浩斗 氏

参加者：85人

◇成果（自己評価等）

清原先生の熱心かつユーモアあふれる指導のもと、受講生それぞれがスキルアップできた研修でした。パート練習として、実行委員の方々に、事前指導をいただいていたことで、講師と受講生との一体感が生まれ、短時間でレベルの高い技術を学ぶことができました。



合唱講習会の様子

◇22年度の予定

平成23年3月13日（日）

文化振興部

丹波の森演劇祭の開催

◇実施内容

地域住民の演劇に対する理解と関心を高めるとともに、演劇を通して感動と共感の輪を広げながら交流を深めるため開催しました。

また、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供することにより、豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため実施しました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

10月24日 「クリスマスキャロル」

(「劇団フジ」の俳優との共演)

(詳細は講座一覧に掲載)

劇団発表公演

11月29日

出演劇団：劇研椎の実

劇団水彩パルチザン

劇団シーブ

参加者 667人



丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演の様子

◇成果（自己評価等）

丹波の森子どもミュージカル体験塾では高校生も参加するようになり、演技はもちろんのこと、小学生への指導等、さらに充実した講座となりました。

劇団発表公演では3劇団が一堂に会し、各劇団の持ち味を存分に発揮した創作劇を披露するとともに、劇団相互の協力を得て特色ある演劇祭となりました。

◇22年度の予定

丹波の森子どもミュージカル発表公演

10月24日 「オズの魔法使いと夢の国」

(「劇団フジ」の俳優との共演)

劇団発表公演 10月30日～31日

出演劇団：劇研椎の実

演劇塾くるまめ

劇団水彩パルチザン

劇団シーブ

花形文化劇場

文化振興部

丹波の森アートフェスティバルの開催

(丹波の森美術展、丹波の森新春書き初め展、兵庫県文化賞受賞者小品展、展示ギャラリー)

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を一堂に展示するとともに、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図るため開催しました。

○丹波の森美術展

(日本画、洋画、彫刻・彫塑の部)

開催日 5月1日～5月6日

出展数 64点 入場者数 728人

○丹波の森美術展(工芸、写真、書の部)

開催日 9月22日～9月27日

出展数 88点 入場者数 503人

○2009兵庫県文化賞受賞者小品展

開催日 10月30日～11月1日

出展数 39点 入場者数 138人

○第33回丹波の森新春書き初め展

開催日 1月16日、17日、19日

会場 丹波の森公苑

出展数 787点 入場者数 1,600人

開催日 1月22日～24日

会場 篠山市立中央図書館

出展数 337点 入場者数 2,640人

○展示ギャラリー

利用随時(利用日数 190日、利用率 61.1%)



丹波の森美術展

◇成果（自己評価等）

丹波の森美術展は今年度で39回目を迎えた。年々出品数が減少している中、作者の思いがこもった作品、旅先や風景画など独自の視点が楽しめる作品が多く展示会場がにぎわった。

展示ギャラリーは、幅広い分野の作品が展示され利用者のみならず来場者も増加傾向にある。

◇22年度の予定

丹波の森美術展 40周年記念招待作家展

7月3日～7月11日

2010兵庫県文化賞受賞者小品展

9月18日～20日

第34回丹波の森新春書き初め展

1月中旬～2月上旬

文化振興部

第 18 回 丹波の森写真コンクールの実施

◇実施内容

平成21年度は「丹波の森の生き物（動植物）」をテーマに作品募集を行い、写真展と表彰式を行いました。

①応募者数、点数：55名、95点

②写真展：4月24日～5月5日 丹波の森公苑
5月7日～5月12日 篠山市民センター

◇成果（自己評価等）

昨年同様デジタルカメラによる写真撮影も可能にしたため、多くの応募がありました。

丹波の森公苑と篠山市民センターで写真展を開催し、多くの方々に鑑賞いただきました。



最優秀賞（ハートマーク）

◇22年度の予定

本事業は21年度で終了しました。

協会事務局

直木賞作家 北原亜以子氏の出版記念会開催

◇実施内容

「おさん茂兵衛」の物語をとおして、丹波の人と文化と自然を全国へ発信するために、平成14年度から創作・上演活動を行っている“おさん茂兵衛 DE 丹波実行委員会”では、今年は直木賞作家北原亜以子氏が「おさん茂兵衛」を題材にした小説「誘惑」を出版されるにあたり、現地案内や丹波弁監修で関わるとともに、出版記念会を開催しました。

開催日 7月25日

会場 丹波市山南公民館集会室

内容 南条 好輝氏による『誘惑』朗読
北原 亜以子氏を囲んでティーパーティー

参加者 100人



「誘惑」出版記念会

◇22年度の予定

開催日：23年3月16日（水）

会場：兵庫県立芸術文化センター

内容：オペラコンサート

「おさん茂兵衛丹波歌暦」

文化振興部

食文化講座の開設

◇実施内容

人と自然と文化の調和した地域づくりをめざす「丹波の森構想」への理解を深めるとともに、多彩な資源を有する丹波地域を中心とした食文化の再発見などを通じて主体的な地域づくりに結びつく学習機会を提供しました。(受講者数 51人)
(詳細は講座一覧に掲載)

◇成果(自己評価等)

「食のはたらきを通していのちをつなぐ」ことをテーマに調理実習、セミナー、里山散策、現地視察など多彩な内容で実施しました。定員を超える参加があり、満足のいく講座がであったとの感想をいただきました。今後も同様の講座を実施、充実できるよう支援していく必要があります。

◇22年度の予定

引き続き実行委員会の企画運営による「食文化講座」を開設。8月から12月にかけて6回講座で、食といのち(つながって生きる)について考えます。



第3回講座の様子

「森でときめき、観て、創って、食べて」

文化振興部

施設の利用促進

情報誌・年報等の発行

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、生活創造・地域づくり活動等の地域情報を、「年報」、情報誌「丹波の森」やインターネットのホームページで発信しました。

- ・「年報2008」の発行 1,000部
- ・情報誌「丹波の森」の発行
年2回(9月、3月:44,000部(丹波市、篠山市全戸配布))
- ・ホームページによる情報発信(毎月更新)
アクセス件数 24,934件(平成21年度)

◇成果(自己評価等)

情報誌やHPを通じて森公苑や地域情報を幅広く発信することができました。

◇22年度の予定

紙面やHPの見やすさ、利用しやすさを検討し幅広い層の利用を図る。



ホームページ画面URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>

企画・調査課

丹波県民局等との連携

県民交流広場事業の推進

◇実施内容

小学校区単位のコミュニティとして、みんなが訪れ、集う空間としての「場」の整備と、子育て、防犯、環境、文化、まちづくり等多彩な「活動」を支援するため実施しました。

平成 21 年度事業実施地区 9 地区（新規採択）

篠山市内 5 地区

（みたけの里づくり協議会ほか 4 団体）

丹波市内 4 地区

（氷上町北地区自治振興会ほか 3 団体）

◇成果（自己評価等）

各地域における活動拠点が整備され、子育て支援、防犯、防災など多彩な活動を通して、地域の活性化と世代間交流が促進されました。

◇22 年度の予定

平成 18 年度から本格実施となり、平成 22 年度までの間事業実施校区を募集する。



氷上町北地区自治振興会拠点竣工式
アトラクション

県民協働課（県民局）

地域ぐるみ安全対策の推進

◇実施内容

安全・安心の地域づくりをめざして、住民による自主的な防犯活動を展開する「まちづくり防犯グループ」の立ち上げや運営を支援しました。

◇成果（自己評価等）

子どもの見守りや、地域パトロールなど活発な防犯活動が展開され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という機運が高まっている。

◇22 年度の予定

引き続き防犯グループの結成を促進し、研修会の開催等により、活動の継続と広がりを支援する。



青色回転灯をつけたパトロール車による防犯活動

県民協働課（県民局）

子育て応援ネット事業の実施

◇実施内容

篠山市及び丹波市の子育て支援連絡会の支援、県が委嘱している子育て家庭応援推進員の研修などにより、子育て家庭を応援する活動を地域に定着させました。

◇成果（自己評価等）

子育て家庭応援推進員を対象とした研修会の実施や両市との連携により、日常的な声かけや、子育て家庭のSOSを見逃さずキャッチする見守り活動が継続されました。

◇22年度の予定

両市との連携、子育て家庭応援推進員の研修等を引き続き実施し、活動を継続化し定着を図る。



朗読劇の様子

県民協働課（県民局）

地域団体活動パワーアップ事業の実施

◇実施内容

地域団体の活性化や魅力ある丹波づくりに向けて、各地域団体が共同利益の実現を目的として主体的に取り組む諸活動に対し、事業経費の一部を助成しました。

助成団体：14団体

助成額：260万円

◇成果（自己評価等）

事業を通して、交流のなかった地域団体が出会い、連携し、事業を実施することにより新しいネットワークができた等、との高い評価を得ている。

◇22年度の予定

引き続き実施する。



堤防をキャンパスに「恐竜アート」
（大谷自治会）

こころ豊かな美しい丹波地域推進会議

県民交流広場を活用した農産物直販と農の体験交流事業の推進

◇実施内容

丹波と都市部の県民交流広場が、農産物直販や農業体験等を通じて交流を行うことにより、相互の理解と信頼のもと地域の活性化を図るとともに地域コミュニティの連携強化につなげる事業をモデル実施した。

◇成果（自己評価等）

継続的な取り組みとなるよう「交流協定」の締結など、相互の理解のもと交流を続けるしくみができた。

◇22年度の予定

モデル事業の成果をふまえ、県民交流広場が行う、都市と丹波の交流の取り組みを推進する。



協定書の調印式

県民協働課（県民局）

第11期

こころ豊かな人づくり500人委員会の運営

◇実施内容

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、青少年育成活動や地域づくり活動に関して、主体的・能動的に参画する地域の担い手を養成するため、各種学習、実践の場を提供しました。（1期2年）。（詳細は講座一覧に掲載）

- 全県セミナー（年2単位）
- ブロック別カリキュラム（年6単位）
 - 専門セミナー（年3単位）
 - 実践セミナー（年3単位）
- 自主グループ研修（年間随時）

◇成果（自己評価等）

第11期500人委員会を開講した。第1期丹波地域委員42名は、「地域活動」「青少年育成」「環境保護」「野外活動・レクリエーション」「国際交流」の5グループの何れかに所属し、自主活動等を経て、それぞれの課題解決に向けての取り組みを広く展開しました。



第11期500人委員会全県セミナー（開講式）

◇22年度の予定

第11期こころ豊かな人づくり500人委員会後期の1年間のセミナーを開催予定

丹波青少年本部

たんば子ども塾の開催

◇実施内容

丹波地域の7県立高校の生徒が講師となり、小学校の児童を対象に各校の特色を生かした講座を実施しました。

協力校 篠山鳳鳴高、篠山産業高、
篠山産業高東雲校・丹南校
柏原高、氷上高、氷上西高

内容 科学実験、将棋、機械工作、
調理実習、草木染め など
(詳細は講座一覧に掲載)

受講生 35人

◇成果(自己評価等)

講師の高校生及び参加の小学生共に、豊かな感性と自立心を育む場として賑やかな交流活動として実施することができました。保護者からも高い評価が得られており、人気の講座となっています。

◇22年度の予定

引き続き、丹波地域の7県立高校で実施します。



草木染めをしてみよう
(県立篠山産業高等学校 東雲校)

丹波青少年本部

子どもの冒険ひろば事業の支援

◇実施内容

子どもたちが旺盛な好奇心やエネルギーを発散させ、自分の責任で自由に遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援しました。

- ・ 「たんばっ子ひろば」

実施団体：ナルク丹波

活動場所：大沢一号公園、里山ごんげんさん、丹波の森公苑ほか

◇成果(自己評価等)

プレイリーダーの見守りのもと、子どもたちの体験活動の機会を広げるとともに、異世代との交流を深めることができました。

◇22年度の予定

ナルク丹波の自主運営となるが引き続き開設を支援します。



「たんばっ子ひろば」
(丹波市 里山・ごんげんさん)

丹波青少年本部

若者ゆうゆう広場事業の支援

◇実施内容

中・高校生を対象に、気軽に立ち寄り集まった仲間と楽しく交流できる「若者ゆうゆう広場」の設置を支援しました。

- ・「ゆうゆうかすが」（実施主体：丹波市社会福祉協議会）
- ・「ゆうゆうささやま」（実施主体：市民センター協議会）

◇成果（自己評価等）

中・高校生が学校帰りなどに立ち寄り、ゆったりのおんびりと好きなことをして過ごす「たまり場活動」やダンスなどの「サークル活動」により若者の自主的な活動の輪が広がりました。

◇22年度の予定

自主運営となるが、引き続き開設を支援します。



「ゆうゆうささやま」

丹波青少年本部

丹波青少年マナーアップ啓発事業の推進

◇実施内容

青少年のマナーアップを図るため、啓発資料を活用し、各種会議・イベント等で啓発するほか、青少年問題を考える研修会として「不登校・引きこもり・ニートをめぐる青少年の現状」（1月24日参加者226人）のテーマで講演会を開催しました。

◇成果（自己評価等）

不登校や引きこもりの現状を、様々のデータをもとに解説いただき、現在社会が抱える問題点との関係をクロスしながら、われわれが果たすべき役割や取り組みについて学習することができました。

◇22年度の予定

「現代的な青少年をめぐる諸問題」をテーマに実施します。



青少年問題を考える研修会

丹波青少年本部

青少年を守り育てる 県民スクラム運動の推進

◇実施内容

青少年愛護活動推進員等の設置、「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」の開催（7月24日、参加者22人）、地域環境の整備及び啓発活動の展開等を行いました。

◇成果（自己評価等）

青少年に関わりのある業界、団体、機関と連携し、青少年の健全育成に対する住民の意識の高揚と大人の規範意識の醸成、社会環境浄化等を推進することができました。

◇22年度の予定

引き続き、業界、団体、関係機関の連携を強化し、青少年の健全育成を推進します。



青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議

丹波青少年本部

高齢者の生きがい創造推進

◇実施内容

（財）兵庫県生きがい創造協会丹波支部と篠山市、丹波市の高齢者大学・講座、兵庫県地域高齢者大学「丹波OB大学」が連携して様々な取り組みを実施することにより、地域ニーズを反映した高齢者の健康と生きがいの創造活動を開発、普及しました。

- ・学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の実施
- ・高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議の開催
- ・高齢者大学OB会等による団塊の世代・シニアの広場デビュー支援事業の実施

◇成果（自己評価等）

学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会では、丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、日頃の学習活動の成果を発表することにより、互いに学びあい交流を深めることができました。

広場デビュー支援事業では、丹波OB大学関係者が地域においてさまざまな活動を実施できるよう支援することができました。



学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の様子

◇22年度の予定

引き続き（財）兵庫県生きがい創造協会と連携し、高齢者の健康と生きがいの創造を推進する。

生きがい創造協会丹波支部

講座一覧

丹波の森大学(第19期)

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	7月3日	【開講式】 野生動物の反乱はなぜ起きたか?	京都大学名誉教授・丹波の森大学名誉学長 河合 雅雄
2	7月24日	景観は、里の品格 地域の人々の心をうつす鏡	ニッセイ基礎研究所 社会研究部門 上席主任研究員 池邊 このみ
3	8月7日	ボランティア時代の緑のまちづくり	東京農業大学教授 進士 五十八
4	8月21日	景観からのまちづくり	大阪大学名誉教授 鳴海 邦碩
5	9月4日	フォーラム 兵庫の頑張る人	パネル・ディスカッション
6	9月26日	動物と向きあう地域づくり	大阪芸術大学教授 若生 謙二
7	11月20日	コウノトリノ郷公園 コウノトリ湿地NPO	現地研修
8	10月17日	公開講座 丹波の恐竜化石発掘3年間の成果	兵庫県立大学准教授 人と自然の博物館研究員 三枝 春生
9	11月6日	これまでのふり返り	兵庫県立大学教授 丹波の森公苑長 中瀬 勲
10	12月11日	風景を学ぶ	兵庫県立大学教授 丹波の森公苑長 中瀬 勲

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	4月9日	講義 土づくり・追肥・肥料の特徴と施し方	田丸 和美
2	5月14日	講義・実習 春の草花の育て方と寄せ植え	田丸 和美
3	6月11日	講義・実習 インテリアで楽しむフラワーアレンジメント	田丸 和美
4	7月9日	講義・実習 夏の玄関を飾る寄せ植え	坂本 正秀
5	8月27日	講義 野菜づくりの基礎	桐村 義孝
6	9月10日	講義・実習 観葉植物の寄せ植え	坂本 正秀
7	10月29日	講義・実習 花木と宿根草の殖やし方	大野 三郎
8	11月12日	講義・実習 クリスマスリースづくり	岡田 せいあ
9	12月10日	講義・実習 お正月の玄関を飾る寄せ植え	桐村 義孝
10	1月7日	講義 パラの接ぎ木、及び養育の仕方	高田 正
11	2月11日	講義・実習 蔓性植物を使った籠づくり	岡田 せいあ
12	3月11日	講義・実習 ミニ盆栽の楽しみ方	高見 敬次

丹波の森園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	10月2日	講義 「植物の適性について」	但馬高原植物園 植栽主任 田丸 和美 (ガーデンマイスター)
2	10月14日	現地学習会 但馬高原植物園	
3	10月23日	講義・実習 「秋の草花の育て方」及び寄せ植え実習	
4	11月13日	講義 「秋植え球根について」	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月28日	【開塾式・オリエンテーション】「竹食器づくり、水中野の生き物を観察しよう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
2	7月18日	「縄文土器をつくろう」	国立民族博物館名誉教授小山修三、陶芸家 宮本ルリ子ほか
3	8月1日 ～3日	縄文キャンプ「野外生活にチャレンジしよう」 縄文土器野焼き、火熾し、自炊、森遊び、昆虫採集、里山探検など	国立民族博物館名誉教授小山修三、陶芸家 宮本ルリ子、 丹波の森公苑森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
4	9月26日	「秋の里山を味わおう」（栗拾い、）	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
5	10月31日	「紙すきをしよう」（紙すき、版画作成）	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	11月28日	「目指せ山頂」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
7	12月26日	「お餅を作って食べよう」（餅つき、包み餅づくり、もみの臼すり作業）	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	1月23日	「凧を作ってみよう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
9	2月27日	「椎茸と竹炭づくり」（食菌、竹切り、竹割り、釜入れ）	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	3月27日	【閉塾式】「みんなで一年を振り返ろう」	国立民族博物館名誉教授小山修三、河合雅雄名誉公苑 長、中瀬勲公苑長、森づくり活動アドバイザー、里山倶 楽部ほか

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月13日	【開講式】 自治会総会、コース別研修、地域別研修、学年別研修	
2	5月27日	教養講座：「裁判員制度について」	神戸地方裁判所裁判官 村井 美喜子
		健康福祉：「笑顔は心と身体の潤滑油～からだをほぐしてレクゲーム体操～」	兵庫県体操指導研究所 石毛宏典 石毛直子
		地域文化：「丹州多紀の農民像」	篠山市研究家 田中 秀夫
		生活創造：「地域で創るバイオマスタイル～参画と連携が生み出す健康的で持続可能な社会づくり～」	加西市生活環境部バイオマス課 植田知華
3	6月10日	教養講座：「四季の愛」	元兵庫県高齢者放送大学学長 藤井義正
		学年別研修：「地域実践の日に向けて」他	
4	6月24日	教養講座：「不老長寿の秘訣～老い方上手～」	(医) 仙養会北摂総合病院顧問 吉田 芳子
		健康福祉：「食と健康」	元神戸大学名誉教授 新家 龍
		地域文化：「新聞記者から見る丹波の魅力」	丹波新聞社 荻野 祐一
		生活創造：「安心安全な暮らしを目指して～悪質商法にご注意・こんな商品 気をつけて～」	神戸女子大学教授 藤井 昭子
5	7月8日	学 外 研 修（人と防災未来センター、野島断層保存館）	
6	8月26日	健康福祉：「くすりの飲み方、まちがっていませんか」	神戸学院大学薬学部教授 福島昭二
		地域文化：「太鼓台から見る丹波」	元山南町文化財審議委員 藤本幸男
		生活創造：「人とコウノトリと自然との共生」	豊岡市立コウノトリ文化館コウノピア職員 松島興治郎
		学年別研修：「運動会に向けて」他	
7	9月9日	奉仕作業、各学年運動会準備	運 動 会
8	9月16日	丹波OB大学創立40周年記念事業・丹波OB大学文化祭 記念講演「高齢者大学で学ぶことの意義」 ※午後：高齢者の主張、芸能発表、作品展	ふるさとひょうご創生塾塾長 青砥謙一
9	9月30日	オープン学習	「陶芸教室」陶の郷 福壽圭輔 大杉康伸 「囲碁ボール」丹波市囲碁ボール協会理事長 谷崎 止 「ウォーキング教室」丹波の森公苑 足立隆昭 「生け花教室」自然環境プロデューサー 白井順子 「木工クラフト」丹波年輪の里 東浦誠
10	10月15日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会・丹波OB大学文化祭 「老人学のす すめ～笑って人生安全運動～」	生涯教育コーディネーター 宮崎春男
		※午後：高齢者の主張、芸能発表、作品展	
11	10月17日	教養講座「丹波の恐竜化石発掘3年間の成果」（丹波の森大学公開講座）	人と自然の博物館研究員 三枝春生

12	10月28日	教養講座：「人間関係の意味」	元兵庫県高齢者放送大学学長 藤井義正
		健康福祉：「笑顔は心と体の潤滑油～身近なもので出来る健康体操 自分発見パートⅠ～」	兵庫県体操指導研究所 石毛宏典 石毛直子
		地域文化：「丹波市で地域遺産を活かしたまちづくり～地域の文化財で街を元気に～」	神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター 松下正和
		生活創造：「『食』と『くらし』の安全・安心を考える」	元神戸女子大学教授 藤井昭子
13	11月11日	地域実践の日	
14	12月9日	教養講座：「余生を楽しく」	願成寺住職 佐々木璋英
		健康福祉：「笑顔は心と体の潤滑油～身近なもので出来る健康体操 自分発見パートⅡ～」	兵庫県体操指導研究所 石毛宏典 石毛直子
		地域文化：「参画と協働のまちづくり」	兵庫県立大学環境人間学部教授 福島 徹
		生活創造：「カルタ句で学ぼう！賢い消費者の旅行術」	元湊川女子短期大学客員教授 田中利美
15	1月27日	教養講座：「放射線の利用」	丹波の森公苑文化振興部 足立幸謙
		健康福祉：「高齢期の健康を考える」	元県立総合リハビリテーションセンター副院長 鳴滝恭也
		地域文化：「丹波の俳人～西山泊雲・野村泊月について～」	植野記念美術館学芸員 芦田岩男
		生活創造：「カルタ句で学ぼう！賢い消費者の旅行術」	元湊川女子短期大学客員教授 田中利美
16	2月10日	健康福祉：「健康は予防から～元気に楽しく生きるために～」	生活習慣病予防指導士 田中光夫
		地域文化：「円山応挙のながれ～長澤芦洲と足立芦月～」	植野記念美術館学芸員 芦田岩男
		生活創造：「家庭における省エネ・自然エネルギーの活用・緑化推進～計測と分析による実践活動から考える～」	環境カウンセラー 竹重 勲
		学年別研修：「1年間のまとめと次年度に向けて」 地域別研修：「1年間のまとめと次年度に向けて」	
17	2月18日	修了式	
		記念講演：「元気はつらつ、すこやか人生」	ひょうご笑いの会 三遊亭楽団治

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」 1年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	6月 3日	開講式、オリエンテーション 記念講演「地域活動を楽しむために」	元加西市立善防公民館 館長 国本豊泰
2	6月17日	講義「素敵な講座にするために」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
3	7月 1日	ワークショップ「効果的なグループ運営を考える」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
4	7月15日	講義「施設訪問で活かせるレクリエーション指導」	大阪府レクリエーション協会認定指導員 代表 吉田等司
5	9月 2日	インターンシップに向けた意見交換	丹波の森公苑 文化専門員
6	9月16日	丹波OB大学文化祭	ふるさとひょうご創生塾 塾長 青砥謙一
7	10月 7日	学外研修「大飯発電所及びおおいり館」	丹波の森公苑 文化専門員
8	10月15日	学ぶ高齢者のつどい 丹波ブロック大会	生涯教育コーディネーター 宮崎春男
9	10月17日	丹波の森大学公開講座	人と自然の博物館 研究員 三枝春生
10	10月21日	ワークショップ「実践活動の企画に向けて」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
11	11月 4日	インターンシップの計画・打合せ	丹波の森公苑 文化専門員
12	11月18日	インターンシップの準備	丹波の森公苑 文化専門員
13	12月16日	講義「地域活動に向けて思いを共有しよう」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
14	12月18日	インターンシップ（地域実践活動）	丹波の森公苑 文化専門員
15	1月20日	講義「わたしたちの地域をとりまく現状を把握しよう」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
16	2月 3日	講義「わたしたちの地域活動の方向性を探ろう」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
17	2月24日	講義「実践活動を振り返って」 修了式、記念講演	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」2年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	6月3日	開講式、オリエンテーション 記念講演「地域活動を楽しむために」	元加西市立善防公民館館長 国本豊泰
2	6月17日	講義「実践活動の企画に向けて」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
3	7月1日	講義「実践活動の企画書をつくる」	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一
4	7月15日	講義「施設訪問で活かせるレクリエーション指導」	大阪府レクリエーション協会認定指導員 代表 吉田等司
5	7月22日	企画書の作成	丹波の森公苑 文化専門員
6	9月2日	実践活動準備・打合せ	丹波の森公苑 文化専門員
7	9月16日	丹波OB大学文化祭	ふるさとひょうご創生塾 塾長 青砥謙一
8	10月7日	学外研修「大飯発電所及びおおいり館」	丹波の森公苑 文化専門員
9	10月15日	学ぶ高齢者のつどい 丹波ブロック大会	生涯教育コーディネーター 宮崎春男
10	10月17日	丹波の森大学公開講座	人と自然の博物館 研究員 三枝春生
11	10月21日	実践活動準備・打合せ	丹波の森公苑 文化専門員
12	11月4日	実践活動現地見学（篠山市内）	丹波の森公苑 文化専門員
13	11月19日	実践活動現地見学（丹波市内）	丹波の森公苑 文化専門員
14	12月2日	「2009年のまとめ」冊子の説明、原稿作成	丹波の森公苑 文化専門員
15	1月20日	実践活動の発表準備	丹波の森公苑 文化専門員
16	2月3日	まとめの校正 修了式打合せ	丹波の森公苑 文化専門員
17	2月24日	講義「実践活動を振り返って」 修了式、記念講演	社団法人兵庫県子ども会連合会 事務局次長 浅見真一

平成21年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月8日	【開講式】・オリエンテーション	丹波の森公苑職員
		篠山城と縄張り	岡野多目的研修センター館長 大路靖
2	8月22日	篠山城大書院の障壁画	甲南女子大学 教授 木村重圭
3	9月5日	篠山藩主 松平氏・青山氏について	篠山市文化財保護審議会 委員 今井進
4	9月12日	篠山城内町の空間構造	大阪市立大学 教授 仁木宏
5	10月3日	丹波の城をめぐる篠山城跡と採石場	郷土史研究家 池田正男

平成21年度県立大学特別公開講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月4日	野生動物の保全と管理の考えと現状	自然・環境科学研究所（森林・動物系） 准教授 坂田宏志
2	7月11日	野生動物問題解決への社会的取り組み	自然・環境科学研究所（森林・動物系） 助教 鈴木克哉
3	7月18日	人と野生動物と森林のつながり	自然・環境科学研究所（森林・動物系） 講師 藤木大介

平成21年度「丹波の森子ども美術クラブ」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月21日 午後	Aコース：段ボールで動物づくり	井上 奈奈（現代アート作家）
	8月22日 午後	Bコース：段ボールで動物づくり	
2	8月25日 午前	Aコース・Bコース合同：インスタレーション（空間芸術）の制作	

平成21年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月25日	オーディション・開講式	劇団フジ 田村 武之、劇団員 丹波の森公苑職員
7月26日～ 10月11日	実習「基本段階」（3回）	
10月17日～ 10月23日	実習「表現力を高める」（3回）	
10月24日	発表公演「クリスマスキャロル」	

平成21年度丹波の森食文化講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月29日	開講式 ころってなんだろう～日々の暮らしと地域の医療～	丹波の森食文化講座実行委員会、丹波の森公苑職員 にしき記念病院 心療内科・漢方科 部長 安井 不二男
2	9月12日	実践元気づくり「攻めの養生」	丹波市役所健康課 保健師 谷川 靖史 管理栄養士 吉竹 恵子
3	10月9日	森でときめき 観て、創って、食べて	丹波の森公苑 足立 隆昭 ピザ窯指導 上田 三平
4	11月14日	自然を載く精進料理のこころ	極楽寺住職 門脇 弘嶽 慧日寺住職 門脇 靖巖 押田 充生
5	11月29日	自然治癒力とは何か	別府内科クリニック 院長 別府 真琴
6	12月15日	現地学習（バスツアー） 五色県民道場村「健康道場」ほか	五色健康道場長

第11期こころ豊かな人づくり500人委員会

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月2日	「大人がかわれば子どももかわる」 「こんな活動がある500人委員会です」	丹波青少年本部長 大木 康次 500人委員会丹波ブロック会長 竹田 秀也 第10期修了生 岡部 喜久男、中道 知代子
		「仲間づくりとコミュニケーション ～グループワークの進め方～」	で・き・たねプロジェクト 神阪 登茂子
2	9月26日	「冒険教育（HAP体験）～仲間づくり～」	HAP講師 宮秋 多香子、網代 真和
3	9月27日	「子どもたちの自己実現を目指して」	NPO生涯学習サポート兵庫事務局長 山崎 清治
4	1月24日	「不登校・引きこもり・ニートをめぐる青少年の現状」	兵庫県立神出学園長 小林 剛
5	2月28日	「地域みんなで笑顔の子育て」	ひょうご笑いの会事務局長 三遊亭 楽団治

平成21年度たんば子ども塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月27日	【開講式】 みんなで楽しくコミュニケーションゲーム	篠山産業高等学校丹南校 レクリエーション研究会
2	7月31日	いろいろな電池をつくってみよう	柏原高等学校 有志
3	8月5日	草木染めをしてみよう	篠山産業高等学校東雲校 生活文化類型
4	8月11日	農場ウオッチング食材バンザイ！	氷上高等学校 営農科有志
5	8月18日	将棋で遊ぼう	篠山鳳鳴高等学校 将棋部
6	8月20日	気体実験を楽しもう	氷上西高等学校 有志
7	8月21日	ロボット工作	篠山産業高等学校 機械研究部

平成21年度丹波の森若者塾

回	開催日	テーマ・内容	講師(敬称略)
1	7月14日	「丹波の赤じゃがプロジェクト第1日目」ネオデリシヤスの商品選別作業	神戸大学農学部学生 神戸大学大学院農学研究科研究員 近藤 史
2	8月6日	「丹波の赤じゃがプロジェクト第2日目」料理レシピ開発、販売準備等	神戸大学農学部学生 神戸大学大学院農学研究科研究員 近藤 史
3	8月10日	「丹波の赤じゃがプロジェクト第3日目」商品実践販売	神戸大学農学部学生 神戸大学大学院農学研究科研究員 近藤 史
4	8月4日	「佐治の町家交流ギャラリーづくりプロジェクト第1日目」 町歩きを通じて地域の現状の把握と課題の発見	関西大学環境都市工学部学生 関西大学環境都市工学部TAFSスタジオ研究員 出町 慎
5	8月8日	「佐治の町家交流ギャラリーづくりプロジェクト第2日目」 借用した空き家を用いてテーマに沿った展示の準備	関西大学環境都市工学部学生 関西大学環境都市工学部TAFSスタジオ研究員 出町 慎
6	8月9日	「佐治の町家交流ギャラリーづくりプロジェクト第3日目」 空き家を用いたギャラリー展示完成、公開座談会	関西大学環境都市工学部学生 関西大学環境都市工学部TAFSスタジオ研究員 出町 慎
7	9月6日	合同フォーラム	神戸大学農学部教授 加古 敏之 関西大学環境都市工学部准教授 北詰 恵一

出前講座の状況

消費生活

回	開催日	場 所	講 座 名	テ ー マ 等	人数
1	5月26日(火)	篠山市役所楽屋会議室	篠山市養鶏研究会	食の安全と安心	15
2	5月27日(水)	青垣福祉交流センター	丹波市社会福祉協議会 平成21年度西部生きがいデイサービス事業	悪徳商法の内容と対処法	20
3	5月28日(木)	氷上健康福祉センター	同上	同上	20
4	5月29日(金)	同上	同上	同上	20
5	6月2日(火)	同上	同上	同上	15
6	6月9日(火)	同上	同上	同上	20
7	6月10日(水)	青垣福祉交流センター	同上	同上	15
8	6月11日(木)	氷上健康福祉センター	同上	同上	20
9	6月17日(水)	青垣福祉交流センター	同上	同上	15
10	6月19日(金)	氷上健康福祉センター	同上	同上	20
11	6月24日(水)	青垣福祉交流センター	同上	同上	25
12	6月27日(土)	氷上町 石生新町公民館	防犯対策講話学習会	悪徳商法の手口とその対処について	50
13	7月7日(火)	氷上健康福祉センター	丹波市社会福祉協議会 平成21年度西部生きがいデイサービス事業	悪徳商法の内容と対処法	20
14	7月15日(水)	青垣福祉交流センター	同上	同上	15
15	7月29日(水)	山南福祉センター	丹波市社会福祉協議会山南ふれあいサロン	悪徳商法とその対処法	20
16	7月30日(木)	ハートフルかすが	平成21年度丹波防犯協会春日支部総会	詐欺行為の手口・対処方法について	40
17	8月12日(水)	山南福祉センター	丹波市社会福祉協議会山南ふれあいサロン	悪徳商法とその対処法	15
18	9月23日(水)	氷上町加茂 北田井公民館	北田井敬老会	悪徳商法にご注意を	30
19	9月29日(火)	山南町 岡本公民館	岡本ふれあいサロン	悪徳商法とその対処法	20
20	0月18日(日)	氷上町 常楽公民館	常楽区敬老会消費生活講演会	同上	70
21	0月23日(金)	青垣町山垣 やまびこセンター萬歳山	遠坂自治区防犯グループ研修会	地域と個人でできる防犯対策	40
22	1月10日(火)	篠山市立丹南健康福祉センタ	篠山市社会福祉協議会「ホームヘルパー職場内研	悪徳商法に関する消費トラブル情報	40
23	1月14日(土)	篠山市立大山小学校ふれあい	大山校区まちづくり防犯グループ「防犯研修会」	悪徳商法と対処法・最近の振込め詐欺	50
24	1月27日(金)	氷上町 棧敷公民館	氷上棧敷ふれあいサロン「さくらんぼ」	悪徳商法とその対処法	25
25	12月1日(火)	篠山市 今田町デイサービスセン	今田地区「すこやか会」	同上	30
26	12月5日(土)	篠山市 西紀老人福祉センター	西紀地区「すこやか会」	同上	30
27	2月10日(水)	篠山市ハートピアセンター	篠山市高齢者大学一般教養講座	契約に強い消費者になるために	80
28	1月25日(月)	篠山市立丹南健康福祉センタ	丹南地区「すこやか会」	悪徳商法とその対処法	70
29	2月1日(月)	篠山市ハートピアセンター	城東・多紀地区「すこやか会」	同上	100
30	2月3日(水)	山南町 前川公民館	山南町前川地区「いきいきサロン」	同上	30
31	2月5日(金)	氷上町 長野公民館	氷上町長野老人会	同上	30
32	2月19日(金)	丹波市立芦田小学校	芦田地区防犯講習会	同上	30

森づくり

回	開催日	場 所	対象団体	テ ー マ 等	人数
1	4月7日	丹波市春日町古河	古河自治会	里山林整備指導	2
2	4月16日	新井小学校	新井小学校	里山観察・オオムラサキ飼育指導	31
3	4月17日	丹波市山南町小新屋 篠山市今田町上立杭	小新屋自治会・上立杭自治会	里山林整備指導	9
4	4月22日	崇広・上久下・新井小学校	崇広小学校・上久下小学校・新井小学校	オオムラサキ幼虫の放虫指導	50
5	5月2日	丹波市春日町古河	古河自治会	里山林整備指導	3
6	6月3日	上久下小学校	上久下小学校	オオムラサキ・里山の役割について講義	15
7	6月9日	上久下小学校	上久下小学校	里山自然観察	15
8	7月3日	崇広小学校	崇広小学校	オオムラサキ観察	4
9	7月10日	小川小学校	小川小学校	オオムラサキ観察案内(下見)	5
10	7月13日	小川小学校	小川小学校	オオムラサキ観察会	12
11	7月29日	丹波市青垣町西芦田	丹波少年自然の家(小学生4・5・6年生)	自然観察	80
12	9月28日	小川小学校	小川小学校	オオムラサキ放虫	12
13	9月29日	篠山市南新町	南新町自治会	樹木(サクラ)診断、及び管理指導	2
14	9月30日	篠山小学校	篠山小学校	樹木の移植、植栽指導	3
15	10月10日	篠山市東木之部	東木之部自治会	ホトケドジョウ・オオムラサキ観察	3
16	10月21日	上久下小学校	上久下小学校	オオムラサキ観察	6
17	10月27日	春日町古河	古河自治会	里山指導	3
18	11月13日	佐治小学校	佐治小学校	オオムラサキ飼育検討	2
19	11月20日	氷上中央小学校	氷上中央小学校	エノキ植樹場所調査	18
20	11月26日	上久下小学校・小川小学校	上久下小学校・小川小学校	オオムラサキ観察、里山学習指導	17
21	11月29日	丹波市市島町中竹田	中竹田里山維持管理会	樹木調査外	15
22	12月8日	氷上中央小学校	氷上中央小学校	オオムラサキの飼育講話、及びエノキ植栽	38
23	12月21日	篠山小学校	篠山小学校	オオムラサキ飼育事前学習	35
24	1月19日	篠山小学校	篠山小学校	オオムラサキ飼育のエノキ植栽とドーム作り	7
25	1月31日	丹波市春日町古河	古河自治会	里山林整備 (樁の移植指導)	3
26	2月2日	崇広・上久下・新井・篠山小学校	崇広・上久下・新井・篠山小学校	エノキ植樹指導とオオムラサキ飼育準備	35
27	2月3日	篠山市南新町・篠山小学校	南新町自治会・篠山小学校	オオムラサキ幼虫採取準備	3
28	2月4日	篠山小学校	篠山小学校	オオムラサキ幼虫採取体験	35
29	2月16日	上久下小学校	上久下小学校	エノキ植樹指導	1
30	3月7日	丹波市春日町古河	古河自治会	里山林整備指導	6
31	3月17日	篠山小学校	篠山小学校	オオムラサキ幼虫放虫指導	70
32	3月24日	新井小学校、氷上中央小学校	新井小学校、氷上中央小学校	オオムラサキ幼虫放虫指導	48

活動一覽

平成21年4月1日～平成22年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
21年4月		
5	オオムラサキ幼虫放虫会	丹波の森公苑
9	花と緑の教室①	丹波の森公苑
10	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第九集原画展（～22日）	丹波の森公苑
12	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
19	森づくりスタッフ活動 丹波市茶華道大会	丹波の森公苑
24	泰17回丹波の森写真展の開催（～5月6日）	丹波の森公苑
29	春の里山ふれあいハイキング 丹波の森美術展（春）審査員による公開講評会	丹波の森公苑
5月		
1	丹波の森美術展（春）（～6日まで）	丹波の森公苑
12	第17回丹波の森写真コンクール写真展	篠山市民センター
13	丹波OB大学開講式	丹波の森公苑
14	花と緑の教室②	丹波の森公苑
17	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
21	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
22	丹波文化団体協議会総会 たんば田舎暮らし実行委員会	丹波の森公苑
23	丹波縄文の森塾① 開塾式	丹波の森公苑
24	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
27	丹波OB大学 ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会総会	丹波の森公苑
30	丹波の森の祭典	丹波の森公苑
6月		
2	トライやるウィーク受け入れ（～6日）	丹波の森公苑
3	丹波OB大学大学院開講式 丹波むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
6	シューベルティアーデ in 佐用町	佐用町
7	丹波の森ふれあい劇場	丹波の森公苑
10	丹波OB大学 (財)丹波の森協会監事監査	丹波の森公苑
11	花と緑の教室③	丹波の森公苑
13	シューベルティアーデ丹波実行委員会総会	お菓子の里・丹波
14	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
16	丹波のむかしばなし現地研修	
17	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
19	ささやまの森公園運営協議会	ささやまの森公園
20	パワーアップ事業公開審査会	丹波の森公苑
21	森づくりスタッフ・里山倶楽部合同活動	丹波の森公苑
24	(財)丹波の森協会理事会 丹波OB大学 丹波の森大学専科	丹波の森公苑
27	第11期こころ豊かな人づくり500人委員会開校式・全県セミナー 丹波消費者団体連絡協議会総会 第4回丹波絵画教室油彩画選抜展（～7月7日）	兵庫県公館 丹波の森公苑 丹波の森公苑

7月

1	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
2	たんば田舎暮らし実行委員会	丹波の森公苑
3	丹波の森大学①開講式	丹波の森公苑
4	兵庫県立大学特別公開講座①	丹波の森公苑
7	国蝶オオムラサキ放蝶式	丹波の森公苑
8	丹波OB大学学外研修	人と防災未来センター
9	花と緑の教室④	丹波の森公苑
11	兵庫県立大学特別公開講座②	丹波の森公苑
15	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
18	丹波縄文の森塾②	丹波の森公苑
	兵庫県立大学特別公開講座③	丹波の森公苑
19	里山倶楽部活動 尼崎里山交流	丹波の森公苑
	田舎暮らし交流フェア	丹波の森公苑
22	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
24	丹波の森大学②	丹波の森公苑
25	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
	おさん茂兵衛総会・講演会直木賞作家 北原亜以子氏の「誘惑」出版記念会	丹波市山南公民館
26	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
27	たんば子ども塾①	篠山産業高校丹南校
	丹波の赤じゃがプロジェクト実行委員会	
31	丹波縄文の森塾③夏の「縄文キャンプ」(～8月2日)	丹波の森公苑
	たんば子ども塾②	柏原高校
	総務常任委員会管内調査	丹波の森公苑

8月

4	丹波の森若者塾	丹波市
5	たんば子ども塾③	篠山産業高校東雲校
6	丹波の森若者塾	篠山市
7	生きがい創造協会丹波支部運営委員会	丹波の森公苑
	丹波の森大学③	丹波の森公苑
8	講座「丹波学」開講式①	丹波の森公苑
	夏のファミリー昆虫観察会	丹波の森公苑
9	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
11	たんば子ども塾④	氷上高校
12	丹波の森 サマーセミナー	丹波の森公苑
16	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
18	たんば子ども塾④	篠山鳳鳴高校
20	たんば子ども塾⑤	氷上西高校
21	たんば子ども塾⑥	篠山産業高校
	丹波の森大学④	丹波の森公苑
	丹波の森子ども美術クラブAコース	丹波の森公苑
22	丹波の森子ども美術クラブBコース	丹波の森公苑
	講座「丹波学」②	丹波の森公苑
23	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	メダカの学校	丹波の森公苑
25	丹波の森子ども美術クラブ	丹波の森公苑
	アトリエアーティスト展(～29日)	丹波の森公苑
26	丹波OB大学	丹波の森公苑
27	丹波の森 子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
29	丹波の森食文化講座①	丹波の森公苑

9月

2	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
4	丹波の森大学⑤	丹波の森公苑
5	講座「丹波学」③ シューベルティアードたんばオープニング・サロンコンサート	丹波の森公苑 お菓子の里丹波
9	丹波OB大学運動会	丹波の森公苑
10	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
12	丹波の森食文化講座② 講座「丹波学」④ 丹南街角コンサート	丹波の森公苑 篠山市民センター 妙楽寺
15	丹波OB大学文化祭作品展	丹波の森公苑
16	丹波OB大学創立40周年記念事業・丹波OB大学文化祭	丹波の森公苑
18	丹波のむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
19	ウィーンの森親善訪問団参加者説明会	丹波の森公苑
20	丹波の森美術展（秋）審査員による公開講習会	丹波の森公苑
22	丹波の森美術展（秋）（～27日）	丹波の森公苑
23	丹波の森公苑で「秋の実りを体験しよう」	丹波の森公苑
25	市島街角コンサート	山名酒造
26	青垣街角コンサート 丹波縄文の森塾④ 丹波の森大学④	神楽小学校 丹波の森公苑 四季の森生涯学習センター
27	森づくりスタッフ・里山倶楽部合同活動	丹波の森公苑
29	実り体験	中央小学校
30	丹波OB大学 キン・コン・カン・コンサート	丹波の森公苑 日置小学校

10月

1	キン・コン・カン・コンサート 実り体験	黒井小学校 崇広幼稚園
3	講座『丹波学』⑤ 氷上街角コンサート	篠山市内 ポップアップホール
4	西紀街角コンサート	黒豆の館
6	実り体験	氷上中央保育園
7	実り体験 丹波OB大学大学院学外研修（大飯原子力発電所）	大山小学校 福井県
8	キン・コン・カン・コンサート 花と緑の教室⑥ 実り体験	上久下小学校 丹波の森公苑 前山保育園
9	丹波の森大学⑦ 丹波の森大学専科 丹波の森食文化講座③ 第2回理事会 キン・コン・カン・コンサート 実り体験	コウノトリの郷公園 丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑 篠山東中学校 久下幼稚園
10	柏原街角コンサート	西楽寺
11	丹波の森子どもミュージカル体験塾 里山倶楽部活動	丹波の森公苑 丹波の森公苑
13	ウィーンの森親善訪問団出発（～21日）	丹波の森公苑
14	キン・コン・カン・コンサート 園芸教室 実り体験	鴨庄小学校 但馬 みつみ保育園
15	兵庫県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会 実り体験	丹波の森公苑 進修保育園
16	実り体験 丹波の森フェスティバル実行委員会	柏原西保育園 丹波の森公苑

1 7	丹波の森大学公開講座⑧ 丹波の森子どもミュージカル体験塾 丹波OB大学・OB大学大学院 春日街角コンサート	たんば田園交響ホール 丹波の森公苑 田園交響ホール 春日ふれあいサロン
1 8	丹波の森子どもミュージカル体験塾 森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2 0	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会第2回文化活動部会 キン・コン・カン・コンサート 実り体験	丹波の森公苑 古市小学校 氷上南保育園
2 1	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
2 2	キン・コン・カン・コンサート キン・コン・カン・コンサート 丹波の森公苑運営委員会（人と自然部会）	大山小学校 後川小学校 丹波の森公苑
2 3	丹波の森子どもミュージカル体験塾 キン・コン・カン・コンサート	丹波の森公苑 西紀小学校
2 4	丹波の森子どもミュージカル体験塾	丹波の森公苑
2 5	地域文化を考えるシンポジウム 山南街角コンサート 里山倶楽部活動	ユニトピアささやま 山南中学校 丹波の森公苑
2 6	地域文化を考えるシンポジウム	恐竜化石発掘現場及び篠山城大書院
2 7	キン・コン・カン・コンサート	前山小学校
2 8	丹波OB大学	丹波の森公苑
2 9	花と緑の教室⑦ たんばのむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
3 0	兵庫県文化賞受賞者小品展（～11月1日） ドングリ拾い・オオムラサキ観察	丹波の森公苑 丹波の森公苑
3 1	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
1 1 月		
1	丹波の森フェスティバル	丹波の森公苑
4	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
6	丹波の森大学⑨ 関西大学 伐採実習	丹波の森公苑 丹波の森公苑
8	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 0	むかしばなし編集委員会 篠山産業高校インターンシップ（～13日）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 1	丹波OB大学	各地域
1 2	花と緑の教室⑧	丹波の森公苑
1 3	キン・コン・カン・コンサート 園芸教室	城北小学校 丹波の森公苑
1 4	丹波の森食文化講座	丹波の森公苑
1 5	篠山街角コンサート ふるさとの心をうたう丹波音楽祭 森づくりスタッフ活動	洞光寺 丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 8	丹波OB大学大学院 （財）兵庫丹波の森協会中間監査	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 9	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
2 0	キン・コン・カン・コンサート 丹波の森大学現地研修	篠山中学校 豊岡市
2 1	キン・コン・カン・コンサート	遠阪小学校
2 2	ウィーンの森親善訪問団反省会	丹波の森公苑
2 3	シューベルティアードたんばファイナルコンサート	丹波の森公苑
2 7	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
2 8	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
2 9	丹波の森食文化講座 丹波の森演劇祭	丹波の森公苑 丹波の森公苑

12月

1	丹波恐竜化石発掘等連絡調整会議 恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくりPT会議	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2	丹波OB大学大学院 たんばのむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
4	文化活動交流会（～6日）	丹波の森公苑
6	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
9	丹波OB大学 むかしばなし編集委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑
10	花と緑の教室⑨	丹波の森公苑
11	丹波の森大学⑩ 閉講式	丹波の森公苑
12	500人委員会OB会交流会	田園交響ホール
13	ふれあいの祭典「ひょうご合唱の祭典」 森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑 丹波の森公苑
15	丹波の森食文化講座	五色県民健康村「健康道場」 高田屋嘉兵衛公園
16	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
18	丹波OB大学大学院実践活動	丹波市内
20	丹波文化団体協議会先進地視察研修（～21日）	愛媛県
26	丹波縄文の森塾⑦	丹波の森公苑

1月

7	花と緑の教室⑩	丹波の森公苑
13	たんばのむかしばなし編集委員会	丹波の森公苑
16	丹波の森新春書き初め展（丹波市会場）（～19日）	丹波の森公苑
17	里山倶楽部・森づくりスタッフ合同活動	丹波の森公苑
20	丹波OB大学大学院	丹波の森公苑
22	丹波の森新春書き初め展（篠山市会場）（～24日）	篠山市立中央図書館
23	丹波縄文の森塾⑧ 風信書道会丹波教室 新春作品展（～24日） 丹波OB大学運営委員会	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
24	里山倶楽部活動 500人委員会第4回丹波セミナー兼丹波青少年マナーアップセミナー	丹波の森公苑 丹波の森公苑
27	丹波OB大学	丹波の森公苑
29	恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり参画フォーラム	丹波の森公苑

2月

3	丹波OB大学大学院 田舎と都会をつなぐプロジェクト研修会 地域再生を担う人づくり事業（～6日）	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
7	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
10	丹波OB大学	丹波の森公苑
11	花と緑の教室	丹波の森公苑
12	地域再生を担う人づくり事業	丹波の森公苑
14	森づくりスタッフ活動	丹波の森公苑
16	丹波地域の「森・里づくりフォーラム」	丹波の森公苑
18	丹波の森大学専科	丹波の森公苑
20	消費者のつどい	丹波の森公苑
21	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
23	たんば道えにし事業打合会	丹波の森公苑
24	丹波OB大学、丹波OB大学大学院 修了式、記念講演 地域再生を担う人づくり事業 先進地視察	丹波の森公苑 丹波の森公苑
25	地域再生を担う人づくり事業	丹波の森公苑
26	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会総会	丹波の森公苑

- | | | |
|----|------------------------|---------------|
| 27 | 丹波縄文の森塾⑨
たんば道えにし学習会 | 丹波の森公苑
篠山市 |
| 28 | 丹波の森童謡・唱歌の祭典 | 丹波の森公苑 |

3月

- | | | |
|----|--|--------------------|
| 3 | 丹波年輪の里運営協議会 | 年輪の里 |
| 6 | パワーアップ事業報告会 | 丹波の森公苑 |
| 7 | 里山倶楽部活動 | 丹波の森公苑 |
| 10 | 丹波の森公苑運営委員会 | 丹波の森公苑 |
| 11 | 花と緑の教室 | 丹波の森公苑 |
| 14 | 平成21年度丹波合唱講習会 | 丹波の森公苑 |
| 17 | ささやまの森公園運営協議会
丹波の森大学専科 | ささやまの森公園
丹波の森公苑 |
| 20 | PAC子どものためのオーケストラコンサート | 丹波の森公苑 |
| 21 | 里山倶楽部・森づくりスタッフ合同活動 | 丹波の森公苑 |
| 24 | 丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会
丹波文化団体協議会第3回理事会 | 丹波の森公苑
丹波の森公苑 |
| 26 | (財)兵庫丹波の森協会理事会 | 丹波の森公苑 |
| 27 | 丹波縄文の森塾⑩ | 丹波の森公苑 |
| 28 | オオムラサキ幼虫放虫会 | 丹波の森公苑 |

施設利用一覧

ホール利用団体

団 体	地域	団 体	地域
アールンピアノコンクール事務局	神奈川県	丹波新体操クラブ	丹波市
大阪音楽教育の会	岸和田市	丹波地域ふるさと芸術文化振興事業実行委員会	丹波市
(株)北近畿クボタ	丹波市	丹波の森ふれあい劇場実行委員会	丹波市
(株)劇団飛行船関西支社	大阪市	丹波の森国際音楽祭シューベルティアード実行委員会	丹波市
劇研椎の実	丹波市	丹波の森文化のまちづくり実行委員会	丹波市
県立柏原高校	丹波市	中兵庫信用金庫	丹波市
県立柏原高校コーラス部	丹波市	西崎 祥 舞踊研究所	丹波市
県立柏原高校吹奏楽部	丹波市	西脇労働基準監督署	西脇市
神戸新聞社	神戸市	日本の童謡・唱歌をひろめる会	篠山市
混声合唱団メイプル	丹波市	パナソニック電工施設照明労働組合	丹波市
(財)兵庫県まちづくり技術センター	丹波市	氷上混声合唱団パストラール	丹波市
篠山・丹波合唱の会	丹波市	氷上吹奏楽団	丹波市
J A丹波ひかみ	丹波市	氷上中央コーラス	丹波市
(社)柏原納税協会	丹波市	ひょうご合唱の祭典丹波市実行委員会	丹波市
生長の家	丹波市	兵庫県生きがい創造協会丹波支部	丹波市
曹洞宗兵庫県第二宗務所	丹波市	兵庫県学校保健主事担当者研究協議大会実行委員会	丹波市
谷公一後援会	丹波市	兵庫県健康福祉部	神戸市
丹波市吹奏楽連盟	丹波市	民主党兵庫県第5区総支部	篠山市
丹波市音楽協会	丹波市	立正佼成会	大阪市
丹波市新産業創造課	丹波市	連合兵庫丹波地域協議会	丹波市
丹波市中学校音楽担当者会	丹波市		

来園団体（施設見学など）

団 体	地 域	団 体	地 域
芦屋熟年コーラス	芦屋市	多田エンゼルス	川西市
あしやY.O.コーラス	芦屋市	千代が丘防災福祉コミュニティ	神戸市
市島中学校	丹波市	中古瀬老人クラブ	加東市
柏原看護専門学校	丹波市	氷上特別支援学校	丹波市
柏原保育園	丹波市	船城小学校	丹波市
グリーンエコー三原	南あわじ市	御影北小少年野球部	神戸市
五色すこやかハーモニー	洲本市		
じゃがいもキャンパス実行委員会	たつの市		
崇広小学校	丹波市		
但馬文化協会	豊岡市		

グラウンド・テニスコート利用団体

団 体 名	団 体 名
E L T	タグチスポーツ
エムシー工業(株)	丹丹シニアテニス実行委員会
柏原看護専門学校	丹波OB大学グラウンドゴルフ部
柏原高校	丹波OB大学同窓会
柏原高校女子テニス部	丹波県税事務所 野球部
柏原高校男子テニス部	丹波市教育委員会
柏原高校ソフトボール部	丹波市グラウンドゴルフ協会
柏原グラウンドゴルフ協会	丹波市サッカー協会
柏原社会人野球協会	丹波市消防団柏原支団消防友の会
柏原スターズ	丹波市ソフトテニス協会
柏原中学校テニス部	丹波市体育協会
柏原中学校	丹波市テニス協会
柏原テニスクラブ	丹有サッカー協会
柏原軟式野球協会	丹有社会人サッカー連盟
春日インパルス	東洋電機(株)
火曜クラブ	中兵庫信用金庫 野球部
ガンツ化成(株)	新井ユニオンズ
けやき台ホーネッツFC	春風JFC
サンデーズ	兵庫県土地家屋調査士会
山南フットボールクラブ	兵庫丹但酪農農業協同組合
J A丹波ひかみ	ほのぼのテニスの会
(社)丹波市シルバー人材センター	ミックスペジタブル
スポーツクラブ21崇広	木曜会

展示ギャラリー利用状況

月	展 示 会 名 (開催期間)
4	丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし第9集原画展（10～23） 第17回兵庫丹波の森協会写真コンクール（24～5/6）
5	丹波の森5人展（9～22） 第4回丹波絵画教室油彩画選抜展（26～6/7）
6	ささゆり写真展（9～13） 西村良子写真展「森と息吹と爽やかな水」（14～27）
7	丹波年輪の里バードカービング展（5～18） オオムラサキ復活プロジェクト～上久下小学校3年生のとりくみ～（19～8/1）
8	ハンス・コパー展紹介及びワークショップ（12～23） アトリエアーティスト井上奈奈展 内包-connotation-(25～29)
9	城谷正己切り絵展（1～12）
10	デザインとしてみる篆刻 不華篆会習作展XVII～トレースをテーマに～（6～12） 創作木工芸 河野好文展（18～30） 元気集落ポスター展（30～11/1）
11	丹波年輪の里絵画サークル作品展(5～18)
12	絵手紙のすすめ 芦田正章展（8～20） 兵庫県統計グラフコンクール優秀作品展（22～1/20）
1	風信書道会丹波教室新春作品展（22～24）
2	カンボジア・ベトナム合同写真展（5～18）

(財) 兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区 分	期 日	開 催 地	出席者数	議 決 ・ 承 認 事 項
第 67 回	平成 21 年 6 月 24 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業報告及び収支決算の件 ・平成 20 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支決算の件 ・平成 20 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業報告及び収支決算の件 ・平成 20 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計事業報告及び収支決算の件 ・理事長、副理事長及び常務理事の互選について ・役員を選任について
第 68 回	平成 21 年 12 月 17 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計収支補正予算の件
第 69 回	平成 22 年 3 月 26 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	16 名 うち表決 委任 4	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園特別会計収支補正予算の件 ・平成 21 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計収支補正予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会一般会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森づくり基金会計収支予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波の森公苑特別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会ささやまの森公園等別会計事業計画及び収支予算の件 ・平成 22 年度（財）兵庫丹波の森協会丹波年輪の里特別会計事業計画及び収支予算の件

(財)兵庫丹波の森協会役員名簿

平成22年3月31日現在

役員の種類	氏名	所属団体等
顧問	河合雅雄	丹波の森公苑名誉公苑長（京都大学名誉教授）
理事長	辻重五郎	丹波市長
副理事長	酒井隆明	篠山市長
常務理事	大對信文	(財)兵庫丹波の森協会
〃	林一路	丹波の森公苑次長
理事	荒木幸代	篠山市農業委員
〃	内田貞雄	丹波県民局長
〃	大木康次	丹波青少年本部本部長
〃	大木豊	丹波市観光協会会長
〃	荻野美代子	丹波市連合婦人会会長
〃	小田晋作	(株)丹波新聞社社長
〃	片寄俊秀	大阪人間科学大学教授
〃	西垣忠司	丹波市自治会長会副会長
〃	杉尾吉弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
〃	谷口務	丹波文化団体協議会会長
〃	中瀬勲	丹波の森公苑長（兵庫県立大学教授）
〃	松本正義	篠山市自治会長会会長
監事	金野幸雄	篠山市副市長
〃	永井隆夫	丹波市副市長

(理事について、氏名の記載は50音順)

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	協議事項
第 28 回	平成 21 年 8 月 28 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	11 名	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森構想評価・検証事業の今後の展開について ・平成 21 年度事業の実施状況及び 22 年度の事業計画等について
第 29 回	平成 22 年 3 月 10 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	14 名	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の報告（人と自然部会、芸術文化部会） ・平成 21 年度事業報告等について ・平成 22 年度事業計画について

専門部会の開催状況

部会名	開催日	開催地	出席者数	協議事項
人と自然部会	平成 21 年 10 月 22 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	8 名	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森構想評価検証結果と今後の展開について ・平成 21 年度事業実施状況とその結果を踏まえた平成 22 年度事業計画案について ・丹波の森公苑の運営について ・意見交換
芸術文化部会	平成 21 年 10 月 4 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 会議室	6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森美術展見直し（廃止）について ・丹波の森サマーセミナーについて ・その他の事業等について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

平成 22 年 3 月 31 日現在

区分	氏名	職名・所属団体等	備考
地域代表	赤井 俊子	特定非営利活動法人丹波まちづくりプロジェクト代表	
	浅倉 陽子	県民生活審議会委員、 おさん茂兵衛DEたんば実行委員会企画運営委員長	
	荻野 茂	県立丹波年輪の里館長	
	荻野美代子	丹波市連合婦人会長	
	小林 廣子	篠山市いずみ会長	
	小森 真一	ひょうごCSRクラブ丹波支部長	
	谷口 務	(財)兵庫丹波の森協会理事、丹波文化団体協議会長	
	西尾 昭	篠山音楽協会会長	
	吉見 守正	神戸新聞丹波総局長	
行政	大内 誠	丹波県民局県民室長	
	平野 斉	篠山市政策部長	
	中川 泰一	丹波市企画部長	
学識経験	岡田眞美子	兵庫県立大学環境人間学部教授	
	加藤 恵正	県民生活審議会委員、兵庫県立大学教授	
	河内 厚郎	夙川学院短期大学教授、「関西文学」編集長	芸術文化部会長
	小山 修三	国立民族学博物館名誉教授、 福井県若狭三方町縄文博物館運営委員	
	永田 萌	(株)妖精村代表取締役、イラストレーター	
	中村 順子	特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター 神戸理事長	人と自然部会長
	端 信行	兵庫県立歴史博物館長	委員長
	服部 保	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授	

(氏名の記載は、50音順)

丹波の森公苑運営委員会・専門部会名簿

「人と自然」部会

平成22年3月31日現在

氏名	所属団体等	備考
赤井 俊子	(特) 丹波まちづくりプロジェクト	部会長
太田 一成	子育てファミリーサポートクラブ「キッズパーク」、佐治地区防犯グループ	
小橋 昭彦	(特) 情報社会生活研究所、地域づくり活動支援会議委員	
酒井 良治	城南地区まちづくり協議会	
笹倉 武史	(特) ナルク丹波事務局長	
杉本 義治	丹波の森公苑里山倶楽部	
徳平 利加子	(有) ささと代表、地域づくり活動支援会議委員	
中道 知代子	丹波消費者団体連絡協議会、地域ビジョン委員会、自然体験活動サポーター	
西本 富子	こころ豊かな人づくり 500 人委員会丹波OB会、自然体験活動サポーター	

「芸術文化」部会

平成22年3月31日現在

氏名	所属団体等	備考
河内 厚郎	夙川学院短期大学教授 「関西文学」編集長 文化プロデューサー	部会長
磯尾 隆司	丹波彫刻会	
井上 和美	演劇塾「くろまめ」	
上田 秋則	丹波OB大学同窓会	
岸本 雅世	おさん茂兵衛DEたんば	
酒井 欣也	シューベルティアーデたんばプロデューサー	
杉尾 吉弘	創作人の会「めんめ」	
前川 鈴代	丹波広報スタッフ・美たんばネット	

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■ 丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援
協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1 研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

<p>■丹波の森研究所専門研究員</p> <p>環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。</p>	<p>■森づくり活動アドバイザー</p> <p>親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。</p>
<p>■地域づくり活動サポーター</p> <p>地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。</p>	<p>■生活情報活動アドバイザー</p> <p>消費生活、環境問題などについての情報の提供や相談に応じ、安心な暮らしを応援します。</p>
<p>■青少年活動コーディネーター</p> <p>青少年活動に関する相談や指導者の紹介など地域の実情に応じた活動を応援します。</p>	<p>■青少年愛護活動推進員</p> <p>青少年の健全育成を図るため、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを応援します。</p>
<p>■展示・企画スタッフ</p> <p>展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。</p>	<p>■芸術村スタッフ</p> <p>芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。</p>

2 その他

- 会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ
- 展示ギャラリー、ライブラリー（図書・ビデオ・パソコンコーナー）、グループ活動コーナー、子ども室
- スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

ライブラリーのご案内（1階）

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、右手の事務室内にライブラリーがあります。

このコーナーはご自由に利用いただけますのでお気軽にお立ち寄りください。

- 図書コーナー 消費生活、芸術・文化、環境、青少年関係などの図書、各種資料を約 3,000 冊所蔵。自由に閲覧いただけます。
- ビデオコーナー 消費者問題、環境問題、健康・福祉、地域づくりなど、暮らしに役立つビデオソフト約 600 本を揃えており館内で見ていただけます。また、貸し出しも行っています。
*ビデオの貸し出しは 1 回につき 3 本まで、貸し出し期限は 2 週間です。

展示ギャラリーのご案内（1階）

あなたの作品 展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手の喫茶スペース手前に展示ギャラリーがあります。

このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。

広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

- 利用期間 搬入出を含む 12 日間以内（休園日を除く）
- お申込み・お問合せ 丹波の森公苑 2 階 文化振興部（0795-72-5170）まで

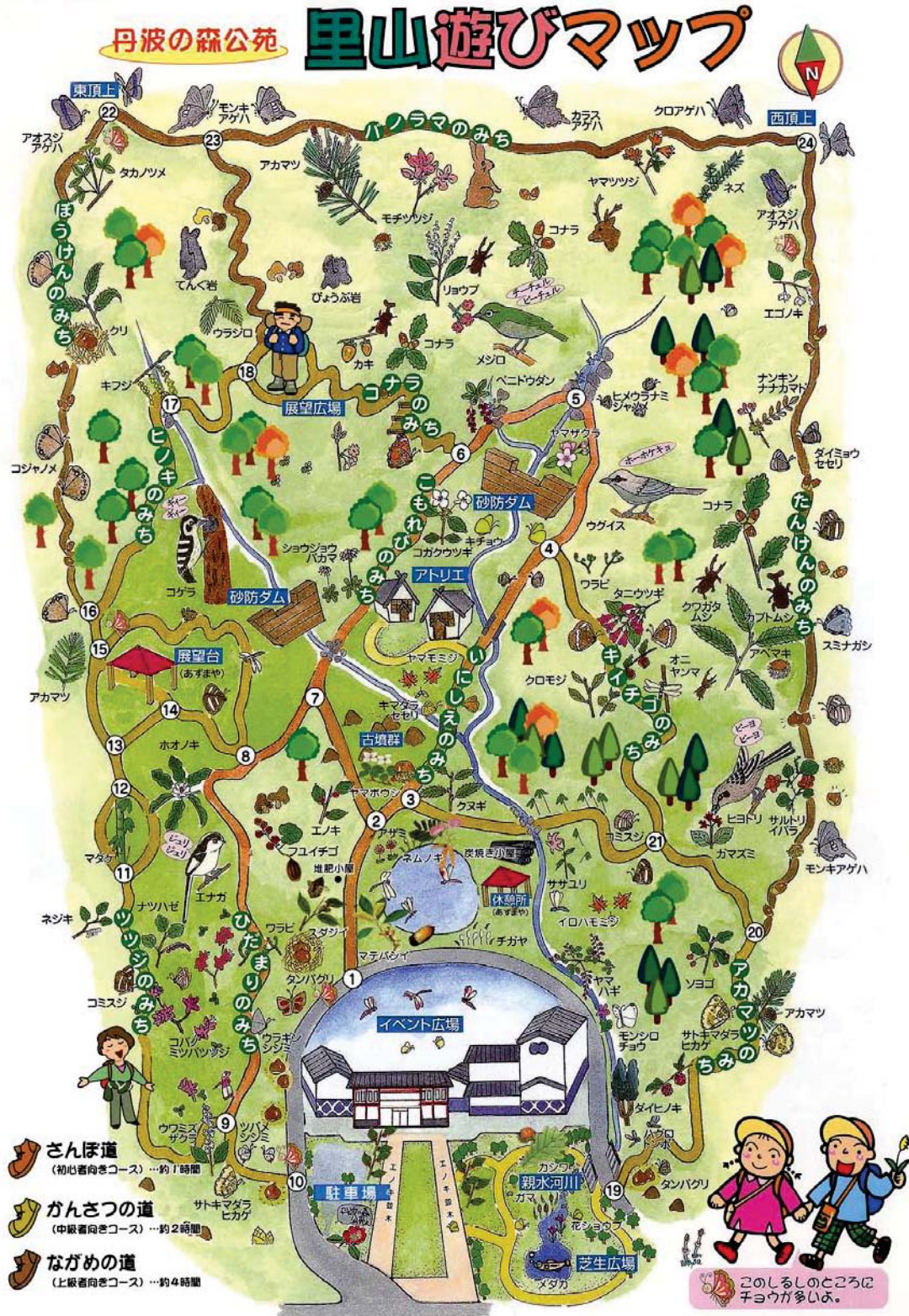
生活創造活動グループサポート制度のご案内

グループで使いまわろう！

- ご利用特典 施設や備品が利用できるほか、情報誌「丹波の森」などでグループ活動を広報します。
【無料で利用できる施設と備品】
グループ活動コーナー（2 階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（グループ間の連絡用）、展示ケース、パソコン、印刷機（紙は持参すること）
【有料で利用できる備品】
コピー機（有料 1 枚 10 円 紙代込み）
- 対象グループ 丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境・資源」「健康・福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。
*政治・宗教活動・営利目的など、サポート制度の目的になじまないグループは除きます。
- 利用できる曜日及び時間 休園日を除く日の午前 9 時～午後 10 時（受付時間 午前 9 時～午後 5 時）
ただし、展示ギャラリーの利用は、午前 9 時～午後 5 時
（受付時間 午前 9 時～午後 5 時 利用の 3 日前までにお申込みください）
パソコン・印刷機・コピー機の利用は、午前 9 時～午後 5 時
（受付時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分）
- お申込み・お問合せ 丹波の森公苑 1 階 活動支援部 事業担当（0795-72-5168）まで

楽しみましょう～森遊び～

- 里山散策 四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。
- 里山創造活動（森遊び）モデルの里山で「丹波の森公苑・森づくりスタッフ」や「丹波の森公苑・里山倶楽部」の活動拠点としてシイタケ栽培、炭焼き、樹名札づくりなど様々な活動を展開しています。
- お問い合わせ 丹波の森公苑1階 活動支援部 森づくり課（0795-72-5169）まで



沿革

(財) 兵庫丹波の森協会の設立

1 設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

- 1 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2 自然とのふれあいに関する事業
- 3 新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
- 4 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5 県立丹波の森公苑の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6 ささやまの森公園の運営等に関する事業の受託
- 7 丹波年輪の里の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 8 その他目的達成のため必要な事業

2 沿革

- ・昭和63年11月16日 丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
- ・平成2年2月1日 兵庫県知事から「財団法人 丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
- ・平成8年4月1日 県立丹波の森公苑の管理運営を受託
- ・平成13年10月1日 兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
- ・平成18年4月1日 財団法人 兵庫丹波の森協会に名称を変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定される
- 同 篠山市からささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
- ・平成21年4月1日 兵庫県から丹波年輪の里の指定管理者に指定される

丹波の森公苑の設置

1 設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第1号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外CSR施設の第1号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

2 沿革

- ・平成8年4月1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）により、氷上郡柏原町柏原5600番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
- ・平成8年4月29日 県立丹波の森公苑開園
- ・平成9年7月6日 多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始

施設の概要

丹波の森公苑の概要

- (1) 敷地面積 359,395.99m²
 (2) 建物面積 延5,953.74m²

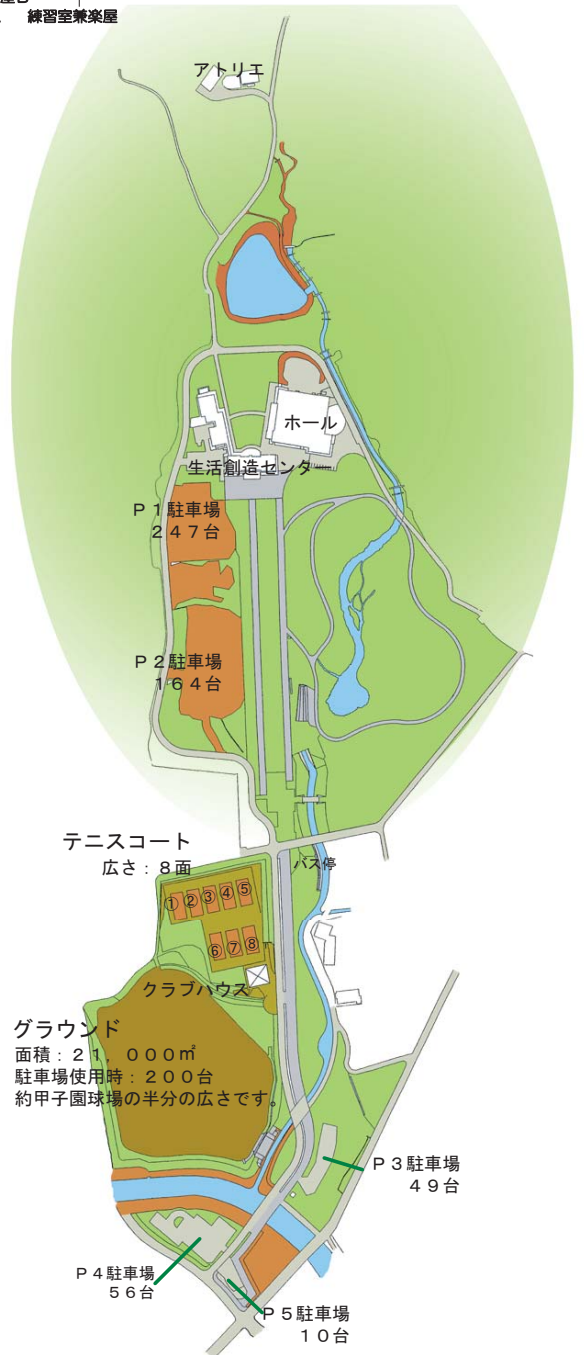
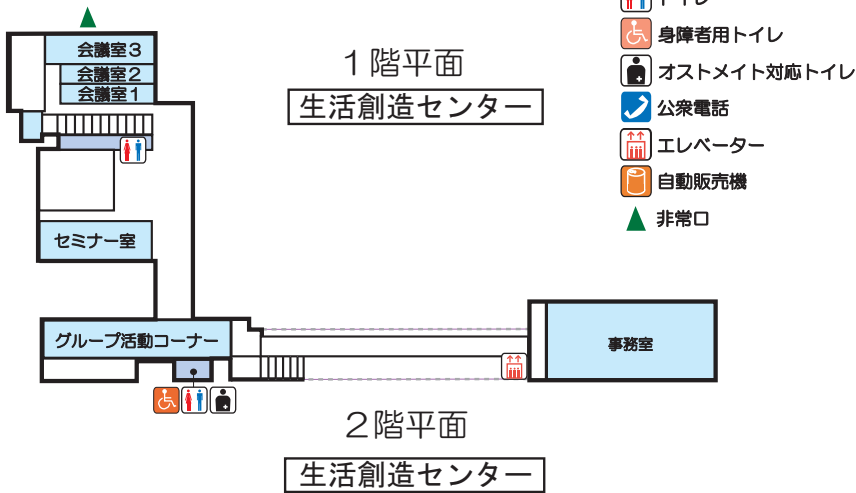
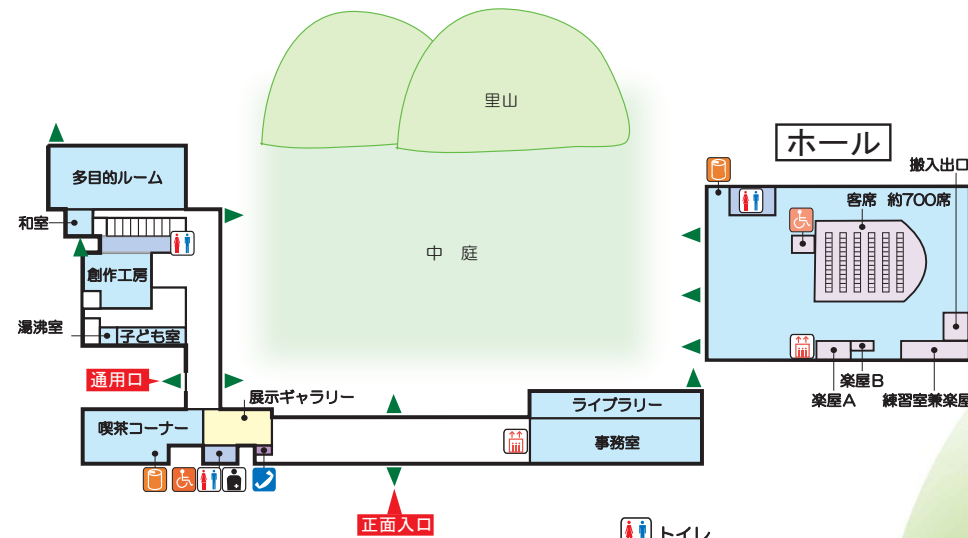
建物の内訳

名 称		建物面積 (m ²)	内 容
生活創造センター棟	管理情報棟	1,069.33	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、喫茶・軽食コーナー、事務室等
	研修創作棟	1,142.36	多目的ルーム(展示等)、創作工房、和室、セミナー室、会議室1、会議室2、会議室3等
	渡り廊下(1)	53.28	
	プロパン庫	5.16	
ホール棟	ホール	2,969.62	ホール(固定席691席)、練習室兼楽屋、楽屋A、楽屋B等
	渡り廊下(2)	26.64	
小 計		5,266.39	
その他	アトリエ	210.28	絵画棟、彫刻棟
	クラブハウス	252.00	スポーツ施設内
	倉庫棟	225.07	倉庫(4)、車庫兼倉庫(2)
小 計		687.35	
合 計		5,953.74	

屋外施設

多目的グラウンド	21,000m ²
テニスコート	人工芝コート8面
里山、散策路	490,000m ² (借地を含む)
その他の施設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図



利用者の推移

平成21年度の利用者数

施設使用料対応入苑者数	90,510人
推計入苑者数(参考)	159,100人
計	≒249,600人

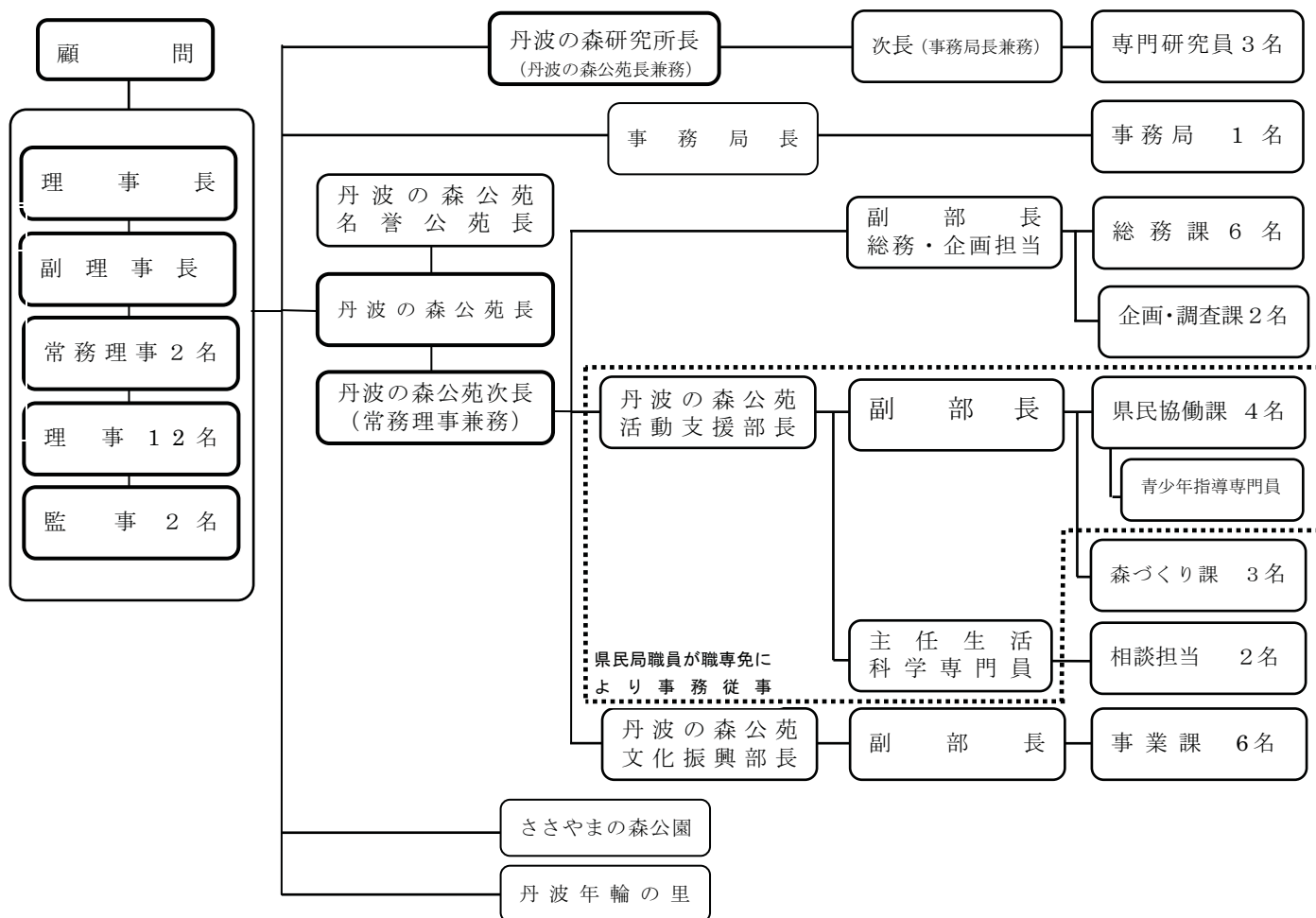
平成8年度から平成21年度までの累計
3,449,100人

組織と職員

平成22年3月31日

(1) 組織図

(財) 兵庫丹波の森協会組織図 (太枠は役員)



(2) 職員数

(単位：人)

区分	事務職	小計	非常勤嘱託員等	小計	合計
丹波の森研究所			専門研究員 4 ★化石発掘体験支援員 1		5
協会事務局	2	2	事務職員 1	1	3
丹波の森公苑	14 【7】	14 【7】	名誉公苑長 1 公苑長 1 生活情報活動アドバイザー 2 地域づくり活動サポーター 1 森づくり活動アドバイザー 2 芸術村スタッフ 1 展示・企画スタッフ 1 ★親広場コーディネーター 1 ★たんば回廊らしワンストップサービス支援員 3 宿日直代行員 3 日々雇用職員 1 丹波県民局嘱託員 4 丹波青少年本部嘱託員 2	23	37 【7】

- 丹波の森研究所長、丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長及び同次長は役員が兼務
- 丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所次長は協会事務局長が兼務
- 事務職欄の14人には、市派遣職員1人を含む。
- 事務職欄の【 】書きは丹波県民局職員で外数
- ★印は、緊急雇用就業機会創出事業職員

(3) 役員・職員配置

[(財) 兵庫丹波の森協会]

顧問	河合 雅雄
理事長	辻 重五郎
副理事長	酒井 隆明
常務理事	大對 信文
常務理事	林 一路
理事	荒木 幸代
理事	内田 貞雄
理事	大木 康次
理事	大木 豊
理事	荻野美代子
理事	小田 晋作
理事	片寄 俊秀
理事	杉尾 吉弘
理事	谷口 務
理事	中瀬 勲
理事	西垣 忠司
理事	松本 正義
監事	金野 幸雄
監事	永井 隆夫

事務局

事務局長	村上 豊
事務員	細見由美子
事務員	山本喜代治

[丹波の森研究所]

丹波の森研究所長	(中瀬公苑長兼務)
丹波の森研究所次長	(村上事務局長兼務)
主任専門研究員	山本 茂
主任専門研究員	重本 幸彦
専門研究員	横山 宜致
専門研究員	上岡 典子
★化石発掘体験支援員	田先 崇

[丹波の森公苑]

名誉公苑長	河合 雅雄
公苑長	中瀬 勲
次長	林 一路
活動支援部長	中野 光司
文化振興部長	豊田 幸雄
副部長 (総務企画担当) 兼総務課長	畑 隆
活動支援部副部長	山田 貴一
文化振興部副部長兼事業課長	山内 一郎
主任生活科学専門員	別府 英市

総務課

課長	(畑副部長兼務)
主査	桐村 雅子
主査	岡田 智恵
日々雇用職員	戸田 晶子
宿日直代行員	山内 一行
宿日直代行員	山根 憲明
宿日直代行員	中能 慶三

企画・調査課

課長	藤原 義信
職員	畑岡 俊成

県民協働課

課長	澤野 勝
青少年指導専門員	奥田 格
主査	高森 直美
主任	小嶋 祐二
地域づくり活動サポーター	方山 桂子
★親広場コーディネーター	田 美樹
★たんば田舎暮らしのストップサービス支援員	杉本 千秋
★たんば田舎暮らしのストップサービス支援員	森本 彰人
★たんば田舎暮らしのストップサービス支援員	山本 知之

相談担当

生活情報活動アドバイザー	西山 和
生活情報活動アドバイザー	田中 範子

森づくり課

課長	山野 廣史
主査	東 正一
森づくり活動アドバイザー	荻野 佐敏
森づくり活動アドバイザー	足立 隆昭

事業課

課長	(山内副部長兼務)
文化専門員	足立 均
文化専門員	吉岡 靖磨
文化専門員	永井 寿幸
文化専門員	足立 幸謙
展示・企画スタッフ	岸本 美鈴
芸術村スタッフ (H22.1.31まで)	畑 明日香

[丹波の森公苑駐在]

青少年愛護活動推進員	足立 吉規
青少年活動推進員	高見由香里
ひょうご子ども・若者応援団普及活動推進員	小島 睦
地域協働推進事務嘱託員	近藤 康男
地域協働推進事務嘱託員	西山 富
★県民交流広場活性化アドバイザー	堀池まゆみ

★印は、緊急雇用機会創出事業職員

ささやまの森公園 事業報告

一年間の活動の内容をより分かりやすくお伝えするために、2009年度ささやまの森公園で行った事業12項目をあげ、「ねらい」や「成果」などについてお知らせいたします。

シューベルティアードたんば 2009 「里山コンサートⅦ」

◇ねらい

自然環境豊かな里山の中で、来園者に音楽を気軽に楽しむ機会を提供し、自然と文化に親しむ。

◇実施内容

アカペラユニット「アルバトロス」と沖縄太鼓演奏「丹波篠山真南風」の演奏を聴く。

◇成果（自己評価等）

参加者 88人

◇翌年度の予定

平成22年9月26日



活動拠点施設「中庭」にてコンサート
(2009. 9. 23)

里山まつり（春・秋）

◇ねらい

春の桜満開の頃と秋の黒枝豆収穫の頃に里山まつりを実施し、来園者に里山と親しんでもらい、ふれあい、交流を持つ。

◇実施内容

ボランティアスタッフや地元住民による体験コーナー、バザー等手づくりイベントを実施した。

◇成果（自己評価等）

参加者 春1,823人 秋1,568人

◇翌年度の予定

春4月、秋10月に開催する。



公園の玄関より秋の里山まつり
(2009. 10. 11)

ゴールデンウィーク特別企画（5月3・4・5・6日）

◇ねらい

連休の来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

- ・どんぐり・まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。
- ・竹炭や石にかわいらしい絵を描く。
- ・木を焦がしながら絵を描く。

◇成果（自己評価等）

参加者 106人（3～6日）

◇翌年度の予定

平成22年5月2～4日



親子で熱心に工作をする
（2009. 5. 3）

お盆休み特別企画（8月14・15日）

◇ねらい

お盆休みの来園者が気軽に参加して、里山でプログラムを楽しんでもらう。

◇実施内容

- ・どんぐり、まつぼっくりや木の枝、竹など自然素材を使って動物やネームプレートを作る。
- ・ヒイラギとヒイラギモクセイの葉で葉脈しおりを作る。
- ・顕微鏡を使ってミクロの生物や葉脈を観察する

◇成果（自己評価等）

参加者 141人（14～15日）

◇翌年度の予定

平成22年8月13・14日



木工作品を作る参加者
（2009. 8. 15）

里山体験プログラム

◇ねらい

里山や村に残る資料や技術などを利用して、その価値や文化を広く人々に伝承していく。

◇実施内容

こんにゃく、黒豆腐、黒豆味噌、草木染め、そば道場、木工体験、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）

33 回実施 参加者 471 人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



藍の生葉でストールを染める参加者
(2009. 8. 2)

レクリエーションプログラム

◇ねらい

尾根や谷、溪流、高低差のある散策路などで五感を使って自然環境の豊かさを体感する。

◇実施内容

ダッチオープン料理、深山登山、溪流登り（沢歩き）、グラウンドゴルフ、夜の自然体験、その他

◇成果（自己評価等）

8 回実施 139 人参加

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



ロープを使いアメリカ式木登りをする参加者
(2009. 6. 13)

自然学習プログラム

◇ねらい

参加者に身近な里山の中で体験を通して楽しく学習をしながら、自然環境の関心を高める。

◇実施内容

植物の観察、ハイキング、水生生物の観察、昆虫標本作り、モリアオガエルやホタルの観察、キノコ観察、バードウォッチング、その他

◇成果（自己評価等）

15回実施 参加者 267人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



園内の野鳥を探す参加者
(2009. 5. 2)

里山復元プログラム

◇ねらい

放置されて荒れていく里山の森を再び活用するために復元・保全活動をする。

◇実施内容

炭焼き体験（木炭・竹炭）、雑木林の整備、丸太のベンチ作り、シイタケづくり①～③、コケ玉とミニ盆栽作り、その他

◇成果（自己評価等）

15回実施、参加者 180人

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通して実施する。



間伐材を使って丸太のベンチを作る参加者(2009. 9. 27)

マツタケ施業

◇ねらい

かつてマツタケの産地として繁栄したこの地域で、マツタケ山を再生して、地域の活性化を図る。

◇実施内容

月に1~2回ボランティアスタッフ有志が公園内のある場所ですべて実際にアカマツ林の整備などを行っている。

◇成果（自己評価等）

平成21年4月より合計18回実施した。

◇翌年度の予定

平成22年度も引き続き進める。



調査のため網を張る活動スタッフ

団体利用活動

◇ねらい

学校や公共・民間、その他の団体の活動や交流の場として公園を提供し、積極的に活用できるようにする。

◇実施内容

ネイチャーゲーム、園内散策、葉脈しおり作り、こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、クラフト、自然観察、間伐体験、巣箱作り、布ぞうり作り、黒豆腐作り、その他

◇成果（自己評価等）

団体数90、参加者数1,843人

◇翌年度の予定

今後も利用希望の団体があれば、積極的に受け入れる。



ネイチャーゲームを体験する参加者

団体学校利用活動

◇ねらい

学校の里山授業の一環として学校や公園で里山活動し、いろいろな里山体験を年間通して学習する。

◇実施内容

こんにゃく作り、草木染め、山菜採り、木工クラフト、自然観察、間伐体験、そば打ち体験、わらぞうり作り、しめ縄作り、その他

◇成果（自己評価等）

回数 15回、生徒数 16人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



つるでツル細工を作る生徒と講師

森の学校

◇ねらい

小学校4年生から6年生を対象に、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に参加者を募り開校する。

◇実施内容

昆虫採集と標本作り、夜の自然体験など宿泊体験、山菜教室、バードウォッチング、ツリーイング、巣箱作り、間伐体験、和凧作り、その他

◇成果（自己評価等）

回数 11回、生徒数 12人

◇翌年度の予定

来年度も同様の里山体験授業を実施する。



キャンプでテントを張る生徒達

プログラム一覧

ア) 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
春休みシリーズ 親子で染め物体験	4月 4日	杉の葉でバンダナを染める	8
春休みシリーズ 親子でクッキング	4月 5日	レンガ窯でピザを焼いて食べる	23
やきもの体験シリーズ おしゃれな植木鉢を作ろう① ～作陶～	5月31日	公園の土を使って作陶	7
里山伝承 ～ちまき作り～	6月 7日	ササ・カヤ・イグサでちまきを作る	31
トマトケチャップをつくろう	6月14日	旬のトマトでケチャップを作る	31
小さな宝物を作ろう ～石と炭のアート～	6月21日	石や炭に絵を描く	7
やきもの体験シリーズ おしゃれな植木鉢を作ろう② ～絵付け・本焼き～	6月28日	絵付けと本焼き	8
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	7月12日	夏野菜を使った和え物などの料理	20
布ぞうりを作ろう！	7月19日	古布を使ってぞうりを作る	16
夏休み宿題お助け企画 ～輪ゴム鉄砲を作ろう～	7月26日	割り箸と輪ゴムで鉄砲を作る	24
草木染め教室 ～藍の生葉で染めよう～	8月 2日	藍の生葉でストールを染める	14
夏休み宿題お助け企画 ～モビールを作ろう～	8月23日	昆虫や魚のバランスで動く木工を作る	9
里山体験シリーズ そば道場入門① ～種まき～	8月30日	種まき作業	21
ミニ靴の小物入れを作ろう	9月13日	和紙を使って靴の形の小物入れを作る	4
こんにゃく作り	9月20日	こんにゃく芋でこんにゃくを作る	10
やきもの体験シリーズ ウェルカムボードを作ろう① ～作陶～	10月18日	公園の土を使って作陶	8
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	10月25日	栗・小豆・のりを使っておはぎを作る	16
里山体験シリーズ そば道場入門② ～そば刈り～	11月 1日	そば刈り作業	23
男の料理	11月 3日	ロールキャベツと黒豆ご飯を作る	18
草木染め教室 ～秋色に染めましょう～	11月21日	杉の葉でバンダナを染める	5
やきもの体験シリーズ ウェルカムボードを作ろう② ～絵付けと本焼き～	11月22日	絵付けと本焼き	11
里山体験シリーズ そば道場入門②-1 ～脱穀～	12月 6日	乾燥したそばの脱穀作業	6
布ぞうり作り	12月 6日	古布を使ってぞうりを作る	8
里山体験シリーズ そば道場入門③ ～そば打ち体験～	12月20日	収穫したそば粉でそば打ち体験	23
しめ縄作り	12月23日	お正月準備のしめ縄を作る	33
かわいい馬の置物を作ろう	1月23日	自然素材を使って馬の置物を作る	7
里山伝承シリーズ ～昔ながらの田舎料理～	1月31日	地元「山の神」で作る豆腐なますなどを作る	9
黒豆味噌作り パート1	2月14日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	18
黒竹で恐竜を作ろう	2月14日	黒竹を使って恐竜の置物を作る	7
黒豆味噌作り パート2	2月24日	丹波特産の黒豆を使って味噌を作る	18
やきもの体験シリーズ ミニティッシュボックスを作ろう① ～作陶～	3月 7日	公園の土を使って作陶	11
やきもの体験シリーズ ミニティッシュボックスを作ろう② ～絵付けと本焼き～	3月22日	絵付けと本焼き	11
春を呼ぶおやつを作ろう	3月28日	ヨモギ団子とうぐいす餅を作る	6

計	33回	471
---	-----	-----

② レクリエーション班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
第12回グラウンドゴルフ大会	4月15日	ささやまの森公園杯争奪	35
深山登山 ～新緑の「深山」に登ろう～	5月16日	新緑の深山へ登山をする	5
ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～	6月13日	(AM) アメリカ式木登り体験をする	12
ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～	6月13日	(PM) アメリカ式木登り体験をする	15
ささやまの森探検隊	7月11日	源流をめざして沢歩きをする	13
深山登山 ～黄葉の深山に登ろう～	11月22日	黄葉の深山へ登山をする	16
深山登山 ～冬の深山に登ろう～	1月24日	冬の深山へ登山をする	28
初めての野外炊飯 ～自分でご飯を炊いてみよう～	2月27日	薪に火をつけご飯を炊く体験をする	15
計	8回		139

③ 自然学習班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～	5月2日	オオルリなどの野鳥の観察をする	27
モリアオガエルとホタルの観察	6月6日	夜の生き物の観察をする	35
モリアオガエルの観察会	6月20日	モリアオガエルの卵の観察をする	10
ヒメボタルの観察会	7月4日	フラッシュ点滅するヒメボタルを観察する	36
夏休み宿題お助け企画 ～昆虫標本作り～	7月25日	昆虫観察と標本を作る	12
水辺の生きものを探そう	8月16日	溪流に棲む生きものの観察をする	24
夏の自然を楽しもう	8月29日	初秋の風が吹く園内で自然観察をする	3
秋の夜 虫の声を聞き分けよう	9月5日	夜の鳴く虫の観察をする	18
きのこウォッチング	9月26日	園内のきのこを観察する	16
秋の自然を楽しもう!	10月24日	木の実など園内で自然観察をする	17
杉玉作り	11月29日	杉の葉を使って杉玉を作る	12
バードウォッチング	12月12日	カマガラなどの野鳥を観察する	18
小鳥の食卓とお家を作ろう	1月17日	巣箱とペットボトルでエサ箱を作る	12
冬の自然を楽しもう!	2月13日	生き物の足跡や冬ごもりを観察する	5
バードウォッチング	3月20日	早春の園内で野鳥を観察する	22
計	15回		267

④ 里山復元班のプログラム活動

プログラム名	実施日	内 容	参加者数
癒しの灯りを作ろう	4月26日	間伐材で電気スタンドを作る	13
コケ玉とミニ盆栽作り	5月18日	植物の苗でコケ玉とミニ盆栽を作る	17
炭焼き体験 ～木炭作り～	6月27日	木炭の窯出しと木炭材の窯入れをする	16
竹の食器を作ろう	7月5日	竹で箸やコップなどを作る	8
夏休み宿題お助け企画 ～小さな飾り棚を作ろう～	8月22日	間伐材を使ってミニ飾り棚を作る	12
里山活用シリーズ 丸太のベンチ作り② ～ベンチ作り～	9月27日	マイベンチを作る	16
癒しの灯りを作ろう	10月17日	間伐材で電気スタンドを作る	11
コケ玉とミニ盆栽作り	10月31日	植物の苗でコケ玉・ミニ盆栽を作る	13
里山活用シリーズ 炭焼き体験① ～竹伐りと竹割り～	11月8日	炭材の竹伐り・竹割り作業をする	16

里山活用シリーズ シイタケづくり① ～原木伐採とシイタケの話～	11月14日	原木伐採とシイタケの話	11
里山活用シリーズ 炭焼き体験②～炭焼き～	11月28日	竹炭材の窯入れ作業をする	14
里山活用シリーズ シイタケづくり② ～ほだ木作り～	12月14日	原木の玉伐り・ほだ木を作る	13
雑木林を育てよう&ネームプレート作り	1月24日	除伐・輪切りでネームプレートを作る	5
炭焼き体験～木炭作り～	2月28日	竹炭の窯出しと木炭材の窯入れをする	6
里山活用シリーズ シイタケづくり③ ～菌打ち～	3月7日	植菌作業をする	9
計	15回		180

イ) 特別プログラム

プログラム名	実施日	内容	参加者数
春の里山まつり	4月12日	体験コーナー・バザー 他	1863
GW特別企画 竹笛作り	5月3日	篠竹を使って竹笛を作る	30
GW特別企画 木工クラフト	5月4日	木の実や枝を使って森の動物を作る	29
GW特別企画 トールペイント	5月5日	石や炭に絵を描く	29
GW特別企画 ウッドバーニング	5月6日	木を焦がしながら絵を描く	18
お盆休み特別企画 葉脈しおり作りと顕微鏡でミクロの世界をみよう	8月14日	葉脈しおり作りと顕微鏡で観察をする	79
お盆休み特別企画 木工クラフト	8月15日	木の実や枝を使って森の動物を作る	62
里山コンサートⅦ	9月23日	アカペラ・沖繩太鼓演奏	88
秋の里山まつり	10月11日	体験コーナー・バザー 他	1600
福住校区限定 シイタケづくり①	11月28日	原木伐採とシイタケの話	4
福住校区限定 シイタケづくり②	1月23日	原木の玉切り作業をする	3
福住校区限定 シイタケづくり③	2月20日	菌打ち作業をする	3
河合雅雄先生 講演会	3月14日	演題「アフリカ調査 こぼれ話」	56
計	13回		3864

ウ) 団体プログラム

プログラム内容別利用団体・参加者数

内容	団体数	参加者数	内容	団体数	参加者数
園内散策	31	676	田舎料理	1	18
自然観察	5	125	山菜教室	1	18
環境・里山学習	2	32	ツリーイング体験	1	28
間伐体験	4	103	ピザ作り	1	40
沢登り	1	15	草木染め	5	82
木工クラフト	4	120	ネイチャーゲーム	1	30
紙すき体験	1	6	こんにやく作り	1	18
シカ肉料理	1	18	ネイチャーゲーム	1	14
沢遊び	1	57	ハイキング	1	15
コケ玉作り	2	22	動物オブジェ作り	4	52
きのこ学習	1	8	ミニ靴の小物入れ作り	1	8
しいたけ植菌	1	28	そば打ち体験	2	31
しめ縄作り	1	18	深山登山	1	18

黒豆腐作り	1	18	つる採集・つる細工	2	36
森の学校	11	189	計	90	1843

エ) 会議・その他

月日	事業名	事業内容	参加者数
4月17日	お楽しみプログラム	鬼まんじゅう作り	3
4月15日	団体準備	草木染め煮出し	1
4月18日	あらし班活動	畑作業	4
4月19日	木工旋盤実演会	木工旋盤の使い方を講習する	4
4月25日	自然学習班会議	7～9月新プログラム案企画会議	2
4月29日	里山体験班・レクリエーション班合同会議	7～9月新プログラム案企画会議	7
4月29日	里山復元班会議	7～9月新プログラム案企画会議	5
4月29日	ロックガーデン	ロックガーデン(野草園)の整地・移植作業	4
4月中	プログラム準備	春の里山まつり準備 その他(8回)	31
5月1日	リーダー会	7～9月新プログラム企画調整会議	3
5月10日	活動スタッフ総会	H20年度活動報告・H21年度活動計画 他	26
5月28日	団体準備	丹波の森の祭典の葉脈しおり作り	5
5月中	プログラム準備	丸太のベンチ材料準備・炭焼き体験 その他(4回)	7
5月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	4
5月中	あらし班	畑作業(2回)	11
6月4日	団体準備	森の学校のツリーイング	6
6月7日	あらし班作業	黒豆の種植え作業	6
6月17日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	6
6月19日	運営協議会	H20収支・事業報告、H21事業計画	22
6月20日	自然学習班会議	10～12月新プログラム案企画会議	4
6月中	プログラム準備	炭焼き体験の竹伐り作業・ちまき作り その他(3回)	8
6月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	6
7月11日	ささもり窯作業	窯の修復作業	4
7月15日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	10
7月18日	木工旋盤実演会	木工旋盤の使い方講習会	1
7月18日	里山復元班会議	10～12月新プログラム案企画会議	6
7月18日	里山体験班会議	10～12月新プログラム案企画会議	7
7月18日	レクリエーション班会議	10～12月新プログラム案企画会議	4
7月20日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	6
7月中	プログラム準備	昆虫標本作り材料作り・布ぞうり試作その他(4回)	11
8月1日	リーダー会	10月～12月プログラム企画調整会議・その他	5
8月7日	団体準備	森の学校 竹の食器準備	2
8月8日	あらし班	南瓜撤収作業・草刈作業	4
8月19日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	9
8月27日	マツタケ施業	実地作業	5
8月中	プログラム準備	そば道場・丸太のベンチ作り材料作りその他(5回)	19
8月中	ささもり窯作業	窯の修復作業	8
9月16日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	6
9月19日	竹の館の修理	屋根の雨漏りの修理	4
9月中	プログラム準備	丸太のベンチ試作・秋の里山まつり準備その他(4回)	11
9月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	3
9月中	ささもり窯作業	窯の修復作業(5回)	15

10月 3日	竹の館修理	屋根の雨漏り修理	1
10月12日	団体準備	草木染め準備	1
10月15日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	6
10月17日	里山復元班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	4
10月17日	里山体験班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	2
10月21日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	5
10月22日	刃研ぎ講習会	工具の刃研ぎを講習する	5
10月24日	自然学習班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	6
10月24日	レクリエーション班会議	1月～3月新プログラム案企画会議	2
10月28日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	2
10月29日	リーダー会	1月～3月新プログラム企画調整会議・その他	3
10月中	プログラム準備	癒しの明かりとり試作・葉脈しおり準備その他(4回)	12
10月中	マツタケ施業	実地作業(4回)	8
11月 1日	ふるさとの森公園イベント	人と自然の博物館のイベント参加(葉脈しおり作り)	5
11月 4日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	1
11月 8日	福住祭イベント	布ぞうり作りで参加	1
11月15日	活動スタッフ研修旅行	海洋博物館・神戸森林植物園を見学	24
11月18日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	1
11月21日	お楽しみプログラム	杉玉作り	11
11月中	プログラム準備	杉玉作・草木染め(2回)	7
11月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	3
12月10日	マツタケ施業	実地作業	3
12月12日	自然学習班会議	4～6月新プログラム案企画会議	2
12月16日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	4
12月17日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	2
12月24日	正月準備	公園の門松・歳徳神材料準備	2
12月中	プログラム準備	炭焼き・ミニ門松作り その他(6回)	13
1月17日	里山体験班・レクリエーション班合同会議	4～6月新プログラム案企画会議	4
1月24日	里山復元班会議	4～6月新プログラム案企画会議	5
1月26日	おやつ研究会	郷土お菓子の研究をする	4
1月中	プログラム準備	小鳥の食卓を作ろう・田舎料理(2回)	6
2月 7日	ボランティアスタッフ交流会	ゆめさきの森公園にて	6
2月11日	リーダー会	4～6月新プログラム企画調整会議・その他	5
2月16日	野鳥の森整備	植樹作業	3
2月20日	木工旋盤講習会	木工旋盤の使い方を講習する	5
2月28日	ツリーイング でく班活動	ツリーイング場所の除伐・整地	3
2月中	プログラム準備	ミニティッシュボックスを作ろう試作 その他(5回)	24
2月中	マツタケ施業	実地作業(2回)	6
3月11日	幹事会	H21事業実施報告・H22事業計画	7
3月14日	活動スタッフ交歓会	親交を深める活動	18
3月17日	運営協議会	H21事業実施報告・H22事業計画	17
3月18日	草木染め同好会	草木染めの勉強会をする	4
3月29日	アカゲラ巣箱作り	アカゲラ巣箱製作	2
3月中	プログラム準備	春を呼ぶおやつを作ろう・癒しの灯りを作ろうその他(3回)	9
計			579

活動・施設利用一覽

平成21年4月1日～平成22年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
平成20年4月		
2	口酒井子供会来園	ささやまの森公園
4	プログラム「親子で染め物体験」	ささやまの森公園
5	プログラム「親子でクッキング」	ささやまの森公園
12	プログラム「春の里山まつり」	ささやまの森公園
14	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
15	プログラム「ささやまの森公園杯争奪 第12回グラウンドゴルフ大会」	ささやまの森公園
	篠山市立福住小学校来園	ささやまの森公園
16	篠山産業高等学校 丹南校 ～草木染め教室～	篠山産業高等学校 丹南校
17	篠山市立村雲小学校 4・5・6年生来園	ささやまの森公園
	寝屋川市自然資料施設運営スタッフ来園	ささやまの森公園
23	篠山産業高等学校 丹南校 ～山菜教室～	ささやまの森公園
26	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
30	篠山産業高等学校 丹南校 ～こんにやく作り～	篠山産業高等学校 丹南校
5月		
1	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
2	プログラム「バードウォッチング ～幸せの青い鳥と黄色い鳥に出会うツアー～」	ささやまの森公園
3	GW特別企画「竹笛作り」	ささやまの森公園
4	GW特別企画「木工クラフト ～木の実で森の動物を作ろう～」	ささやまの森公園
5	GW特別企画「トールペイント」	ささやまの森公園
6	GW特別企画「ウッドバーニング」	ささやまの森公園
9	森の学校 ～開校式・オリエンテーション～	ささやまの森公園
13	春日・丹波の森の会来園	ささやまの森公園
	県立芦屋国際中等教育学校来園	ささやまの森公園
14	篠山産業高等学校 丹南校 ～間伐体験～	ささやまの森公園
16	プログラム「深山登山 ～新緑の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
17	プログラム「コケ玉とミニ盆栽作り」	ささやまの森公園
19	ささやまの森公園維持管理協議会来園	ささやまの森公園
26	氷上高年低山会来園	ささやまの森公園
30	丹波の森の祭典	丹波の森公苑
31	プログラム「おしゃれな植木鉢を作ろう①」	ささやまの森公園
6月		
5	篠山市教育委員会来園	ささやまの森公園
6	プログラム「モリアオガエルとホタルの観察会」	ささやまの森公園
	森の学校 ～ツリーイング体験と巣箱作り～	ささやまの森公園
7	プログラム「里山伝承 ～ちまき作り～」	ささやまの森公園
11	篠山産業高等学校 丹南校 ～動物オブジェ作り～	ささやまの森公園
13	プログラム「ロープで木登りしよう ～ツリーイング体験～」	ささやまの森公園
14	プログラム「トマトケチャップを作ろう」	ささやまの森公園
16	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園

20	プログラム「モリアオガエルの観察会」	ささやまの森公園
21	プログラム「小さな宝物をつくろう ～石と炭のアート～」	ささやまの森公園
25	篠山産業高等学校 丹南校 ～ダッチオープン料理とモリアオガエルの観察～	ささやまの森公園
27	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園
28	プログラム「おしゃれな植木鉢を作ろう②」	ささやまの森公園
7月		
3	篠山市国際理解センター来園	ささやまの森公園
4	プログラム「ヒメボタルの観察会」 森の学校 ～昆虫標本作り～	ささやまの森公園
5	プログラム「竹の食器を作ろう」 亀岡親子劇場来園	ささやまの森公園
7	植物同好会来園	ささやまの森公園
8	篠山市立福住小学校 4年生来園	ささやまの森公園
9	ナチュネット来園	ささやまの森公園
11	プログラム「ささやまの森探検隊 ～ささやまの森公園の知られざる秘境地帯をゆく～」 ささやまスポーツクラブ21来園	ささやまの森公園
12	プログラム「里山伝承 ～昔ながらの田舎料理～」	ささやまの森公園
19	プログラム「布ぞうりを作ろう！」	ささやまの森公園
22	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
24	篠山市特別支援学級・養護学級来園	ささやまの森公園
25	プログラム「夏休み宿題お助け企画 ～昆虫標本作り～」	ささやまの森公園
26	プログラム「輪ゴム鉄砲を作ろう」 日本野外生活推進協会来園	ささやまの森公園
28	京都中丹養護学校中部来園	ささやまの森公園
30	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
31	丹波県民局 環境教育研修会来園	ささやまの森公園
8月		
2	プログラム「草木染め教室 ～藍の生葉で染めよう～」	ささやまの森公園
6	篠山産業高等学校 東雲校来園	ささやまの森公園
7	篠山産業高等学校 東雲校来園 篠山市親子ふれあいセンター ウサギ組来園	ささやまの森公園
8～9	森の学校 ～竹の食器作り・ささやまの森探検隊・ 夜の自然体験・水辺の生きものを探そう～	ささやまの森公園
14	お盆休み特別企画「葉脈しおり&顕微鏡でミクロの世界をみよう」	ささやまの森公園
15	お盆休み特別企画「木工クラフト」	ささやまの森公園
16	プログラム「水辺の生き物を探そう！」	ささやまの森公園
20	篠山市教育委員会（幼稚園中堅職員研修）来園	ささやまの森公園
21	篠山市教育委員会（幼稚園新人職員研修）来園	ささやまの森公園
22	プログラム「小さな飾り棚を作ろう」	ささやまの森公園
23	プログラム「モバイルを作ろう」	ささやまの森公園
26	富山保育園来園	ささやまの森公園
29	プログラム「夏の自然を楽しもう！」	ささやまの森公園
30	プログラム「そば道場入門① ～種まき～」	ささやまの森公園
9月		
3	篠山産業高等学校 丹南校 ～黒豆腐作り～	篠山産業高等学校 丹南校

5	プログラム「秋の夜 虫の声を聞き分けよう」 森の学校 ～間伐体験・木工クラフト～	ささやまの森公園 ささやまの森公園
10	篠山産業高等学校 丹南校 ～つる植物の採集～	ささやまの森公園
12～13	J U O N 来園	ささやまの森公園
13	プログラム「ミニ靴の小物入れを作ろう」	ささやまの森公園
15	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
17	篠山産業高等学校 丹南校 ～つる細工～	ささやまの森公園
20	プログラム「こんにやく作り」	ささやまの森公園
23	プログラム「里山コンサートⅦ」	ささやまの森公園
26	プログラム「きのこウォッチング」	ささやまの森公園
27	プログラム「丸太のベンチ作り② ～ベンチ作り～」	ささやまの森公園
10月		
1	篠山産業高等学校 丹南校 ～田舎料理～	篠山産業高等学校 丹南校
3	森の学校 ～きのこウォッチング・自然観察～ 兵庫きのこ研究会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
7	篠山市立篠山幼稚園来園	ささやまの森公園
11	プログラム「秋の里山まつり」	ささやまの森公園
14	篠山市姉妹都市委員会来園 社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
17	プログラム「癒しの灯りを作ろう」	ささやまの森公園
18	プログラム「ウエルカムボードを作ろう①」	ささやまの森公園
22	篠山産業高等学校 丹南校 ～竹とんぼ作り～	篠山産業高等学校 丹南校
24	プログラム「秋の自然を楽しもう」 日本災害救援ボランティアネットワーク来園 KWVOB会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園 ささやまの森公園
25	プログラム「昔ながらの田舎料理 ～おはぎ作り～」	ささやまの森公園
28	篠山市立福住小学校来園	ささやまの森公園
31	プログラム「コケ玉とミニ盆栽作り」	ささやまの森公園
11月		
1	プログラム「そば道場入門② ～そば刈り～」 ふるさとの森公園「人博フェスティバル」イベント	ささやまの森公園 人と自然の博物館
3	プログラム「男の料理」 多紀文化祭イベント	ささやまの森公園 篠山市ハートピアセンター
4	篠山市立福住小学校 3年生来園	ささやまの森公園
6	J A丹波ささやま女性の会来園	ささやまの森公園
7	森の学校 ～深山へ木の名前を覚えるハイキングと自然観察～	ささやまの森公園
8	プログラム「炭焼き体験① ～竹伐採と竹割り～」 福住祭イベント	ささやまの森公園 篠山産業高等学校 東雲校
13	HNWVクラブ来園	ささやまの森公園
14	プログラム「シイタケづくり① ～シイタケの話と原木伐採～」 香寺町野外活動協会来園	ささやまの森公園 ささやまの森公園
19	篠山産業高等学校 丹南校 ～ドングリを使ったオモチャ作り～	ささやまの森公園
21	プログラム「草木染め教室 ～秋色に染めましょう～」	ささやまの森公園
22	プログラム「ウエルカムボードを作ろう② ～絵付け&本焼き～」	ささやまの森公園
23	プログラム「深山登山 ～黄葉の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
25	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園

26	篠山産業高等学校 丹南校 ～しめ縄作り～	ささやまの森公園
27	丹波県民局 ビジョン委員会来園	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験② ～竹炭作り～」	ささやまの森公園
	プログラム「シイタケづくり①（福住校区限定）」	ささやまの森公園
	人と自然の会来園	ささやまの森公園
29	プログラム「杉玉作り」	ささやまの森公園
	篠山自然の会来園	ささやまの森公園

12月

5	森の学校 ～クリスマスリース作り～	ささやまの森公園
6	プログラム「布ぞうり作り」	ささやまの森公園
	プログラム「そば道場入門②-1 ～そばの脱穀～」	ささやまの森公園
12	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
13	プログラム「シイタケづくり② ～ほだ木作り～」	ささやまの森公園
15	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
20	プログラム「そば道場入門③ ～そば打ち体験～」	ささやまの森公園
23	プログラム「しめ縄作り」	ささやまの森公園
27	プログラム「ミニ門松作り」	ささやまの森公園

平成20年1月

13	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
14	篠山産業高等学校 丹南校 ～そば打ち体験～	ささやまの森公園
16	森の学校 ～和風作り～	ささやまの森公園
17	プログラム「小鳥の食卓とお家を作ろう」	ささやまの森公園
21	篠山産業高等学校 丹南校 ～シカ肉料理教室～	篠山産業高等学校 丹南校
23	プログラム「かわいい馬の置物を作ろう」	ささやまの森公園
	プログラム「シイタケづくり②（福住校区限定）」	ささやまの森公園
24	プログラム「雑木林を育てよう&ネームプレート作り」	ささやまの森公園
30	プログラム「深山登山 ～冬の深山に登ろう～」	ささやまの森公園
31	プログラム「昔ながらの田舎料理 ～山の神で作る料理～」	ささやまの森公園

2月

2	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
6	森の学校 ～バードウォッチング・自然ウォッチング～	ささやまの森公園
13	プログラム「冬の自然を楽しもう」	ささやまの森公園
14	プログラム「黒豆味噌作り Part 1」	ささやまの森公園
20	プログラム「シイタケづくり③（福住校区限定）」	ささやまの森公園
21	プログラム「黒竹で恐竜を作ろう」	ささやまの森公園
24	プログラム「黒豆味噌作り Part 2」	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園
27	プログラム「初めての野外炊飯 ～自分でご飯を炊いてみよう～」	ささやまの森公園
28	プログラム「炭焼き体験 ～木炭作り～」	ささやまの森公園

3月

2	社会福祉法人NAGOMI 来園	ささやまの森公園
6	森の学校 ～終了式・文集作り～	ささやまの森公園
7	プログラム「シイタケ作り③ ～菌打ち～」	ささやまの森公園
	プログラム「ミニティッシュボックスを作ろう① ～作陶～」	ささやまの森公園
9	プログラム「河合雅雄さん・永田萌さん対談 ～子どもに自然を～」	ささやまの森公園
10	篠山市立畑小学校 5年生来園	ささやまの森公園

20	プログラム「バードウォッチング」	ささやまの森公園
22	プログラム「ミニティッシュボックスを作ろう② ～絵付け&本焼き～」	ささやまの森公園
29	プログラム「春を呼ぶおやつを作ろう」	ささやまの森公園
29	阪神シニアカレッジ来園	ささやまの森公園
	六甲道児童館来園	ささやまの森公園

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

平成22年3月31日現在

区分	氏名	職名・所属等	
学識経験者	河合 雅雄	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 丹波の森公苑名誉公苑長	会長
	永吉 照人	兵庫県生物学会元会長 兵庫県立大自然環境科学研究所元教授	副会長
	八木 剛	兵庫県立人と自然の博物館主任研究員	
地元代表	土井 忍	地元福住地区総代会長	副会長
	森田 悟	地元川原自治会会長	
	降矢 太刀雄	地元大字福住地区代表	
市関係	森岡 武	篠山チルドレンズミュージアム館長	
教育関係	河南 秀和	篠山市教育委員会教育長	
	上田 洋行	丹波市教育委員会教育長	
	久木 茂昭	兵庫県立篠山産業高等学校東雲校教頭	
	原田 健一	兵庫県生物学会会員・伊丹市立高等学校教諭	
	臼井 正博	篠山市立大芋小学校教諭	
自然・環境活動関係	足立 勲	自然体験研究所長・関西学院大学非常勤講師 兵庫県自然保護指導員	副会長
	竹内 正義	篠山自然の会	
	脇塚 陸	ひょうご森のインストラクター	
	近成 つた子	丹波の森花くらぶ	
	芦田 正章	丹波自然友の会	
活動スタッフ代表	杉田 弘治	地元活動スタッフ代表	
	森田 守二	地元活動スタッフ代表	
	辻本 哲	活動スタッフリーダー	
	山崎 和美	活動スタッフリーダー	

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれた草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

プログラム		主な内容
里山体験	①工 作 ③食 材・料 理 ④体 験 農 業	つる細工、しめ縄、巣箱、葉脈しおり、木工、リース、草木染め 山菜料理、豆腐、味噌、餅、田舎料理、こんにゃく、そば 丹波黒豆、山の芋、そば、野菜等
自然学習	①環 境 学 習 ②生 態 学 習 ③保 全 学 習	植生、水生昆虫、ビオトープ、水鳥、野鳥 里山自然林の動植物、両生類、魚類、昆虫 里山森林保全、谷川の清流、原生林の植生、湿地の植生
レクリエーション	①ハ イ キ ン グ ②ゲ ー ム ③み どころ 巡 り	深山コース、府県境コース、胎内くぐりコース、源流探検 ネイチャーゲーム、ネイチャーテイリング 胎内くぐり、天然記念物「沙羅の木」、蛇岩、かくし田
里山復元	①里山総合学習 ②里山総合体験 ③里山総合利用	樹種学習、植生調査、森林生態、森林科学、森林経済 間伐、枝打ち、きのこ栽培、堆肥作り、植林 炭焼き、木材利用、水車作り、ログハウス建築

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

総合的な学習の展開に適したプログラムを約20種類用意し、学校や子供会の要望に応じています。

■森の学校

毎月第1土曜日を基本として年間(11回)里山体験をする。夏期休暇は1泊2日のキャンプ体験をします。

■イベント

春の里山まつり・秋の里山まつり・里山音楽会・講演会等、年に数回のイベントを実施しています。

沿革

ささやまの森公園の設置

1 設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外CSR事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用したプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

2 沿革

- ・平成14年 4月 1日 兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
- ・平成14年 4月 4日 活動拠点施設開所式
- ・平成14年 7月 6日 ログ小屋完成
- ・平成14年 7月21日 開園式典
- ・平成15年 5月17日 柚小屋完成
- ・平成16年 3月31日 10号作業道・12号歩道（木の実の散策路）完成
- ・平成16年 6月 1日 竹の館完成
- ・平成17年 3月31日 13号歩道・14号歩道・15号歩道（湖上の散策路）完成
- ・平成18年 3月31日 16号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
- ・平成18年10月 8日 森守の小屋完成
- ・平成19年 4月15日 開園5周年記念式典
- ・平成19年 4月15日 万兔の森第1期工事完成
- ・平成19年11月10日 炭焼き小屋と柚小屋の屋根延長工事完成
- ・平成20年 3月15日 万兔の森第2期工事完成
- ・平成20年11月23日 レンガ窯「ささもり窯」の完成
- ・平成20年11月26日 野鳥観察小屋完成
- ・平成21年 3月10日 万兔の野草園造成
- ・平成22年 3月 6日 野鳥の森第1期植樹完成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

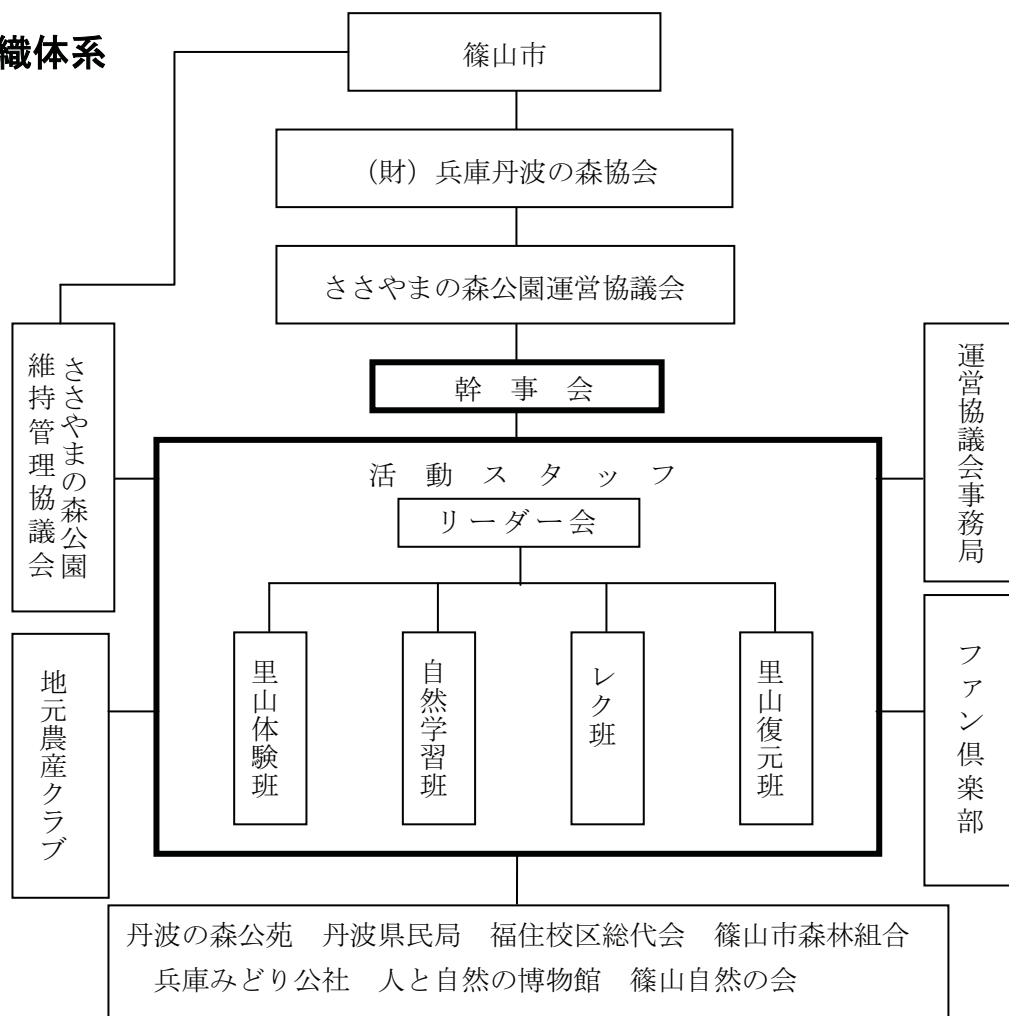
活動拠点施設の位置する谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は255haに及び、人工林30%自然林70%が広がる。

なお、利用者は、平成14年度13,312人、平成15年度17,355人、平成16年度18,364人、平成17年度17,885人、平成18年度20,131人、平成19年度19,319人、平成20年度18,434人、平成21年度23,684人 累計 **148,484人**です。

名 称	内 容
活 動 拠 点 施 設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
ク リ 林 の 園 地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
水 辺 の 広 場	溪流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
こ も れ び の 園 地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
モ リ ア オ ガ エ ル の 池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
炭 焼 き 窯	直径1.8mの本格的な炭焼き窯
柚 小 屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ロ グ 小 屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
散 策 路	湖岸の散策路・赤松の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実散策路・湖上の散策路等全長12.640km整備
駐 車 場	林間駐車場（46台）・施設前駐車場（6台）・臨時駐車場（50台）
竹 の 館	木工材料の乾燥・保管場所(4×10m) 活動スタッフが間伐材を利用して建築
森 守 の 小 屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建設
ハ イ キ ン グ 道	尾根に全長10kmのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
万 兎 の 森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万 兎 の 野 草 園	野草の盗掘を防ぐため石庭形式にし、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
果 樹 園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
ビ オ ト ー プ 池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
野 鳥 観 察 小 屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋（16㎡）が完成
レ ン ガ 窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
野 鳥 の 森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹

組織と職員

(1) 組織体系



- 太枠の活動スタッフと幹事会（若干名）は、ボランティアの活動スタッフ。
- 幹事会：ささやまの森公園運営協議会と活動スタッフより各々の若干名で組織し両者の調整を行う。
- ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制での応募者。
- 活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

(2) 職員 (運営協議会事務局)

担 当	氏 名
公園長兼事務局長	樋 口 清 一
総 務 担 当	藤 原 一 美
森 づ く り 担 当	酒 井 正 治
プ ロ グ ラ ム 担 当	長 井 吉 広
事 務 員	中 尾 俊 子
事 務 員	森 田 朋 子

(3) ボランティア活動スタッフ名簿

里山体験班	秦 信 夫	山 鳥 吉 子
足 立 忠 士	秦 有 理 子	
上 西 三 郎	樋 口 初 美	里山復元班
梅 垣 伸 行	牧 野 英 郎	入 江 ま つ 子
梅 垣 玲 子	森 田 愛 子	上 田 宏
宇 和 川 三 鈴	森 田 美 佐 代	大 野 直 明
大 石 エ ミ 子	山 口 祐 助	岡 野 弘 明
大 石 一 夫	山 崎 和 美	加 藤 隆
大 和 田 英 樹	山 取 樹 利	金 井 拓 男
岡 田 照 代	山 取 純 子	金 子 武 夫
小 賀 野 文 代	横 山 孝 雄	神 原 勝 彦
荻 田 弘 子		喜 多 洋 二
金 丸 一	自然学習班	北 場 章 子
川 上 忠	阿 部 操	小 山 雅 充
杉 田 和 代	泉 靖 子	杉 田 弘 治
杉 田 貞 子	大 塚 剛 二	諏 訪 田 知 敬
杉 谷 和 子	大 塚 千 鶴 子	田 代 善 彌
鈴 木 和 子	倉 掛 み どり	辻 本 哲
高 田 眞 里	田 井 彰 人	津 田 良 仁
竹 内 正 義	高 山 謙 輔	坪 井 忠
竹 内 美 由 紀	谷 口 次 男	中 西 千 秋
近 成 つ た 子	畑 中 美 智 子	初 島 広 治
泊 高 則	道 本 久 美 子	平 田 春 芳
中 島 章 雄		福 島 宏 行
中 島 紀 子	レクリエーション班	藤 村 恵 道
西 村 美 代 子	青 木 美 子	増 田 藤 志 一
野 中 烈	市 村 祐 高	三 木 栄 三
野 中 陸 子	小 島 啓 介	脇 塚 陸
野々村正晟	原 田 優	

丹波年輪の里 事業報告

2009年度に実施した丹波年輪の里の主要な事業・取り組みについては次のとおりです。

環境月間フェア「マイ箸づくり」

◇ねらい

生活に最も身近な「マイ箸」を、丹波材を活用し創作することを通じて、日常利用するお箸のこと、国産材や森林の現状など身近な環境を考える契機とする。

◇実施内容

6月の毎週日曜日に、予め応募し当選した者が、工作指導員の指導のもと、カンナで丹波産の椎の木を削って、また削ってマイ箸を完成。

- ・実施日：6月の毎日曜日（定員1日10名）

◇成果

- ・4回実施、参加者40人

◇翌年度の予定

- ・平成22年6月実施



工作指導員の指導で、専用のジグに入れた椎の木を削る参加者

2009. 6. 7

第22回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）

◇ねらい

「一般の部」は木のおもちゃを念頭に遊び心や木のぬくもりを感じられる作品を、「ジュニアの部」は子どもたちに広く木に親しんでもらうことを目的に自由な木工作品を公募した。

◇実施内容

- 一般・募集作品：「テーマ作品」「自由作品」
 - ・展示期間：平成21年9月20日～10月4日
 - ・展示会場：丹波年輪の里木の館ホール
- ジュニア・募集作品：「自由作品」
 - ・展示期間：平成21年10月24日～11月8日
 - ・展示会場：丹波年輪の里木の館ホール

◇成果

- ・出展者(出展数) 一般 : 58名 (65点)
ジュニア : 350名 (323点)
- ・入選作品 一般 : 9作品・ジュニア : 10作品
- ・展示見学者 一般 : 3,434名・ジュニア : 884名

◇翌年度の予定

- ・平成22年7月～11月



一般の部グランプリ作品
(文部科学大臣賞)



ジュニアの部グランプリ作品
(文部科学大臣賞)

特別工作教室

◇ねらい

利用者の創作ニーズや工作指導員の特技に応じた教室や子供・親子などを対象にした教室を開催する。

◇実施内容

年輪の里の木工指導員による木工教室、地元陶芸家による陶芸教室、絵本の読み聞かせなどを実施した。

【開催した各種教室】

		参加数
・木彫り教室（中級）	月2回	274名
・木彫り教室（専科）	月2回	282名
・刃研ぎ塾	年6回	70名
・楽苦楽木工教室	年3回	190名
・七転八起木工教室	年2回	110名
・ワークショップランチ	年2回	50名
・夏休みこども工作教室	年1回	50名
・陶芸教室	年1回	47名
・絵本の読み聞かせ	年2回	26名
・クリスマスリースづくり	年1回	13名

◇翌年度の予定

同様のプログラムを、年間を通じて実施する。



様々な木工教室を開催



地元陶芸家による陶芸教室

2009. 9. 6

つくって飛ばそう竹とんぼ大会

◇ねらい

竹とんぼの制作者は、竹の材質、大きさ、羽の角度、重さ、心棒などを工夫し、独自の作品を創作する。

こうした手づくりの竹とんぼで競技し、技術の向上を図るとともに伝承おもちゃの普及を目指す。

◇実施内容

- ・実施日：平成21年8月23日(日)
- ・競技種目：①高度（高さ）②滞空時間 ③距離

◇成果

- 竹製の部（竹のみで制作）
- 象嵌の部（竹に木や金属などをはめ込む）
- 参加者 29人（全国から集合）

◇翌年度の予定

平成22年8月22日



大人と一緒に子どもも挑戦 2009. 8. 23

第6回 たんばはがき絵展

◇ねらい

「たんば」の自然、風物、風景などを中心とした「はがき絵」を募集し、丹波の良さを発見する契機とする。

◇実施内容

- ・募集期間：9月1日～12月28日
- ・募集部門：①高校生と一般
②小学高学年と中学生
③幼児と小学低学年の3部門

◇成 果

丹波内外の94名から137点の応募

	出展作品数	出展者数
幼児と小学校低学年の部	62点(41名)	丹波 50名
小学校高学年と中学生の部	31点(26名)	丹波外 44名
高校生と一般の部	44点(27名)	合 計 94名

○展示会開催・年輪の里 木の館ホール

- ・京都会場（南丹市日吉町生涯学習センター）
- ・神戸会場（県立中央労働センター）

◇翌年度の予定

- ・平成22年9月～12月募集、翌年2月展示



一般・高校生の部大賞



中学生・小学高学年の部大賞



小学生低学年・幼児の部大賞

ギャラリーアトリエとアトリエ作品展

◇ねらい

創作活動の促進とアトリエの有効活用と図るため、サークル活動を支援するとともに教室生の発表の場と機会を提供する。

◇実施内容

○アトリエを拠点に活動するサークル活動

- ・スーパー竹とんぼ教室・木彫教室・絵画サークル
- ・バードカービング教室・レザークラフト教室
- ・こども絵画教室(研修室)・日本画教室(研修室)

○アトリエ作品展

- ・出展者：教室生徒・友の会員、
木工指導員の創作作品の展示
- ・開催日：4月29日～5月6日(ゴールデンウィーク期間)
- ・見学者：2647名

○フリーマーケット

- ・実施日：平成21年5月3日・4日

◇翌年度の予定

平成22年度 4・5月ゴールデンウィークに実施



竹とんぼ教室風景

丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会と平日のグラウンドゴルフ

◇ねらい

芝生広場の利用が少ない平日の3日間(水・木・金)は、グラウンドゴルフ愛好者に有料で解放している。このグラウンドゴルフ利用者を対象に、相互の交流とさらなる利用を促進するため年4回の大会を開催する。

◇実施内容

- ・大会参加者：グラウンドゴルフ利用者
- ・募集定員　・1回当たり144名
- ・開催状況　・平成21年06月16日参加：106名
　　　　　　　・平成21年09月16日参加：130名
　　　　　　　・平成22年03月05日参加＝132名

【参考】平日のグラウンドゴルフ

- ・利用可能日：水・木・金曜の3日間
- ・利用料金：1日1人300円
- ・利用受付：レストラン奏旬館

Tel0795-70-1845

◇翌年度の予定

- ・平成22年度　年4回開催予定。



芝生広場でグラウンドゴルフを楽しむ

事業一覧

2009年に実施した丹波年輪の里の事業は次表のとおりである。

1. 工作事業活動

事業名	実施日	内 容	参加者(名)
(1) 木工指導員による工作教室			
①1年を通して開催する教室			
木彫り教室専科	通年24回	ブローチ、タオル掛け、ペンダント等自由課題	延282
木彫り教室中級	通年24回	同 上	延274
②その都度募集して実施する教室			
刃研ぎ塾 6回開催	5月 2日	刃物の研ぎ方を学ぶ	10
	7月 4日		12
	9月 5日		13
	11月14日		14
	1月 9日		9
	3月 7日		12
マイ箸づくり 4回開催	6月 7日	丹波産材でマイ箸をつくる	10
	6月14日		10
	6月21日		10
	6月28日		10
楽苦楽木工教室パートV 10回シリーズ	4月18日	テレフォンテーブルを創作	10
	4月24日		10
	5月 9日		10
	5月16日		10
	5月30日		10
	6月 6日		10
	6月20日		10
	6月30日		10
	7月11日		10
	7月18日		10
七転八起木工教室 3回シリーズ	6月18日	スクロール・ソー・アートで絵を描く	8
	6月25日		8
	7月 2日		8
楽苦楽木工教室パートVI 5回シリーズ	9月25日	卓上整理箱をつくる	10
	10月 9日		10
	10月23日		10
	10月30日		10
	11月13日		10
七転八起木工教室 7回シリーズ	10月24日	打楽器「カホン」をつくる	10
	10月31日		10
	11月 7日		10
	11月21日		10
	11月28日		10
	12月 5日		10
	12月12日		10

ワークショップ「Brunch」 3回シリーズ	12月17日	カタカタくるまをつくる	10
	12月24日		10
	1月14日		10
楽苦楽木工教室パートⅦ 5回シリーズ	1月30日	飾り棚をつくる	10
	2月6日		10
	2月20日		10
	2月27日		10
	3月6日		10
ワークショップ「Brunch」 2回シリーズ	3月14日	レーシングカーをつくる	10
	3月21日		10
夏休み工作教室	7月26日	オンリーワンの壁掛け時計をつくる	50
(2) 木工以外のものづくり等を楽しむ教室			
陶芸教室	9月6日	オリジナル作品に挑戦(例) コーヒーカップ等	47
親子で絵本を楽しもう	8月8日	絵本読み、ペーパークラフトを楽しむ	12
	3月27日		14名
クリスマスリース教室	12月6日	クリスマスリース飾りをつくる	13名
丹波年輪の里友の会 *入会金1000円 *年会費2000円	通 年	会員には24回の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供、刃研ぎ塾、現地研修会などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	1,503名
計			2,639名

2. 競技大会等

事業名	実施日	内 容	参加者数(名)
つくって飛ばそう「竹とんぼ大会」	8月23日	手づくりの竹とんぼで①滞空時間②飛ぶ距離、③飛ぶ高さの3種目を競う。	29
コバ・カイバラ2009 少年サッカー大会	7月25日 26日	地元と大阪・県内チームとの交流大会	380
【グラウンドゴルフ】			
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	6月10日	通常年輪の里でグラウンドゴルフを楽しんでいる者による大会	106
	9月16日		130
	12月3日		雨天中止
	3月5日		132
グラウンドゴルフ事業	通年平日	グラウンドゴルフを楽しむ	1,330
計			2,107

3. サークル教室活動

事業名	実施日	内 容
スーパー竹とんぼ教室	毎月第4土曜 10:00～16:00	国際竹とんぼ協会兵庫本部の会員が、お子さんから大人まで指導。
レザークラフト教室	毎月第2日曜 10:00～16:00	レザークラフト第一人者、佐藤健さんの教室。継続コースと1日のみの体験コースあり。
木彫りサークル	毎月第3土曜 10:00～16:00	木彫り大好きの集いの場。

バードカービング教室	毎月第1・3土曜 10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室 学美隊	毎月第2・4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。大人は水彩画が中心。
絵画サークル	毎月第1・3木曜 10:00～16:00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第1・2・4火曜 13:30～16:30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。

4. 展示・イベント事業

事業名	実施日	内 容	参加者数(名)
【ウッドクラフト展】			
第22回丹波の森 ウッドクラフト展 (一般部門)	9月20日～ 10月4日	「遊び、戯れ、木のぬくもり」をテーマに、全国公募し、審査、優秀作を表彰、入賞作品・出展作品すべて展示。	見学者 3,434
同 上 (ジュニア部門)	10月24日～ 11月8日	県下を中心に全国の高校生以下の生徒作品を公募、審査、優秀作を表彰し、応募全作品を展示した。	見学者 884
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示	通 年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代のグランプリ作品を展示紹介。	
【木に関する展示】			
木 木 市 (もくもくいち)	5月16日・17日	丹波の木材製材関係者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売。	2,300
	11月21日		2,000
木材の塗装と塗料展	3月1日～5月5日	木材を長く、大切に使うために必要な塗料や塗装技術等を展示。	
木材利用啓発展示	通 年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしてパネルを展示	
身近な木製品展示	3月～5月	・木のある暮らしに欠かせない木工・木工品の展示 ・県産木材玩具(ヒノキの積み木)の展示と遊びコーナーの設置	
木のなんでも市・木珠あそび	通 年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売。	
【文化関連・その他の展示】			
絵画教室 学美隊 作品展示	6月6日～14日	教室生徒の作品を展示。	*
日本画教室作品発表展	11月1日～4日	日本画教室生徒の作品発表と展示。	作品 25点
第6回たんばはがき絵展	2月14日～28日	県下及び京都丹波地域に、はがきサイズ絵の作品を公募と作品展示。	出展137点 597
年輪の里フリーマーケット	5月3日・4日	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市を開催。	出店 49件
アート・クラフトフェスティバル インたんば2009	10月3日・4日	全国のアートやクラフトに取り組む人たちの自由な作品を苑内芝生広場で展示をおこない、地域をはじめ来苑者との交流を図った。	13,380

5. 施設案内

走る県民教室等を活用して施設を見学に来られた団体等は次表のとおりである。

地域	来苑日	参加者数（名）	備 考
北播磨・子供会	4月 5日	36	大型1台
但馬・育成会	5月10日	80	大型2台
但馬・葉草クラブ	5月28日	35	大型1台
丹波・篠山	6月 6日	35	大型1台
東播磨・子供会	6月14日	50	大型1台
西播磨・保育所保護者会	6月24日	30	大型1台
神戸・野球少年団	7月25日	30	大型1台
県内・野球少年団	8月 1日	30	大型1台
県内・子供会	8月 4日	30	大型1台
阪神・西宮 育成会	8月 6日	30	大型1台
阪神・西宮 子供会	8月 8日	50	マイクロ2台
東播磨・加古川 婦人会	8月 9日	30	バス1台
阪神・西宮 スポーツ少年団	8月21日	100	大型3台
神戸・野球少年団	8月22日	70	大型2台
東播磨・加東 老人会	9月29日	60	大型2台
神戸・中央区	10月 7日	36	大型1台
神戸・長田区 名店会	10月12日	80	大型2台
神戸・自治会	10月12日	40	大型1台
県内・子供会	10月17日	40	大型1台
神戸・	10月18日	60	大型2台
県北・保育所保護者会	10月23日	90	大型3台
神戸・須磨区	11月 8日	44	大型1台
阪神・宝塚	11月20日	40	大型1台
神戸・婦人団体	11月25日	40	大型1代
東播磨・加東	12月 1日	30	大型1台
神戸・中央区	2月 5日	40	大型1台
阪神・伊丹	3月 4日	20	マイクロ1台
計	27団体	1,199名	

活動・施設利用一覧

平成21年4月1日～平成22年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
平成21年4月		
4月～5月	木材の塗装と塗料展	木の館ホール
1	木彫り教室（専科）	工作室 B
4	バードカービング教室	アトリエ棟
7	日本画教室	研修室 A
8	工作機器安全点検	工作室
8	木彫り教室（中級）	工作室 B
11	絵画教室 学美隊	研修室 B
12	レザークラフト教室	アトリエ棟
14	日本画教室	研修室 A
15	木彫り教室（専科）	工作室 B
16	絵画サークル	アトリエ棟
18	楽苦楽木工教室（テレフォンテーブル創作）	工作室 B
18	木彫サークル	アトリエ棟
18	バードカービング教室	アトリエ棟
21	日本画教室	研修室 A
22	木彫り教室（中級）	アトリエ棟
23	第22回丹波の森ウッドクラフト展実行委員会	研修室 A
24	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
24	楽苦楽木工教室	工作室 B
25	絵画教室 学美隊	研修室 B
28～5/6	アトリエ作品展 GW期間中	アトリエ棟ほか
5月		
2	刃研ぎ塾	工作室 A
3～4	年輪の里フリーマーケット	苑内苑路
6	木彫り教室（専科）	工作室 B
9	楽苦楽木工教室	工作室 B
9	絵画教室 学美隊	研修室 B
13	工作機械安全点検	工作室
13	木彫り教室（中級）	工作室 B
16	楽苦楽木工教室	工作室 B
16	木彫サークル	アトリエ棟
16	バードカービング教室	アトリエ棟
16・17	木木市	木の館ホールほか
19	日本画教室	研修室 A
20	木彫り教室（専科）	工作室 B
21	絵画サークル	アトリエ棟
26	日本画教室	研修室 A
27	木彫り教室（中級）	工作室 B
30	楽苦楽木工教室	工作室 B
30	絵画教室 学美隊	研修室 B

6月		
2	日本画教室	研修室 A
3	木彫り教室 (専科)	工作室 B
6	楽苦楽木工教室	工作室 B
6	バードカービング教室	アトリエ棟
6~14	絵画教室 学美隊作品展	木の館ホール
7	マイ箸づくり教室	工作室 B
10	工作機械安全点検	工作室
10	木彫り教室 (中級)	工作室 B
13	絵画教室 学美隊	研修室 B
14	マイ箸づくり教室	工作室 B
16	第 10 回グラウンドゴルフ大会	芝生広場
17	木彫り教室 (専科)	工作室 B
18	七転八起木工教室 (スクロールソウ・アートに挑戦)	工作室 B
18	絵画サークル	アトリエ棟
20	楽苦楽木工教室	工作室 B
20	木彫サークル	アトリエ棟
20	バードカービング教室	アトリエ棟
21	マイ箸づくり教室	工作室 B
23	日本画教室	研修室 A
24	木彫り教室 (中級)	工作室 B
25	七転八起木工教室	工作室 B
27	楽苦楽木工教室	工作室 B
27	絵画教室 学美隊	研修室 B
27	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
28	マイ箸づくり教室	工作室 B
7月		
1	木彫り教室 (専科)	工作室 B
2	七転八起木工教室	工作室 B
2	絵画サークル	アトリエ棟
4	刃研ぎ塾	工作室 B
4	バードカービング教室	アトリエ棟
7	日本画教室	研修室 A
8	工作機械安全点検	工作室
8	木彫り教室 (中級)	工作室 B
11	楽苦楽木工教室	工作室 B
11	絵画教室 学美隊	研修室 B
12	レザークラフト教室	アトリエ棟
14	日本画教室	研修室 A
15	木彫り教室 (専科)	工作室 B
16	絵画サークル	アトリエ棟
17	木材研修会「世界の木材産業の潮流と国産材」	ラッセホール(神戸市)
18	バードカービング教室	アトリエ棟
18	楽苦楽木工教室	工作室 B
22	木彫り教室 (中級)	工作室 B
25	絵画教室 学美隊	研修室 B

25	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
25・26	コパ・カイバラ少年サッカー大会	イベント広場
26	夏休みこども工作教室	工作室 A
28	日本画教室	研修室 A
8月		
1	バードカービング教室	アトリエ棟
4	日本画教室	研修室 A
5	木彫り教室（専科）	工作室 B
8	絵本の読み聞かせ	研修室 A
9	レザークラフト教室	アトリエ棟
11	日本画教室	研修室 A
12	木彫り教室（中級）	工作室 B
19	木彫り教室（専科）	工作室 B
20	絵画サークル	アトリエ棟
22	絵画教室 学美隊	研修室 B
22	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
23	つくって飛ばそう竹とんぼ大会	芝生広場
25	日本画教室	研修室 A
26	木彫り教室（中級）	工作室 B
29	絵画教室 学美隊	研修室 B
9月		
1	日本画教室	研修室 A
2	木彫り教室（専科）	工作室 B
3	絵画サークル	アトリエ棟
5	バードカービング教室	アトリエ棟
5	刃研ぎ塾	工作室 B
6	陶芸教室	工作室 A
8	日本画教室	研修室 A
9	工作機械安全点検	工作室
9	木彫り教室（中級）	工作室 B
10	第 22 回丹波の森ウッドクラフト展一般の部審査会	木の館ホール・研修室 B
12	絵画教室 学美隊	研修室 B
13	レザークラフト教室	アトリエ棟
16	木彫り教室（専科）	工作室 B
16	第 10 回グラウンドゴルフ大会	芝生広場
17	絵画サークル	アトリエ棟
19	木彫りサークル	アトリエ棟
19	バードカービング教室	アトリエ A 棟
20～10/4	第 22 回丹波の森ウッドクラフト展一般の部展示	木の館ホール
23	木彫り教室（中級）	工作室 B
25	楽苦楽木工教室（卓上整理箱）	工作室 B
26	絵画教室 学美隊	研修室 B
26	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
29	日本画教室	研修室 A
10月		
3・4	アートクラフトフェスティバルインたんぼ2009	芝生広場

4	第22回丹波の森ウッドクラフト展一般の部表彰式	研修室 A
6	日本画教室	研修室 A
7	木彫り教室（専科）	工作室 B
9	楽苦楽木工教室	工作室 B
10	絵画教室 学美隊	研修室 B
11	ひょうご木材フェアに参加	神戸市
11	レザークラフト教室	アトリエ棟
14	工作機械安全点検	工作室
14	木彫り教室（中級）	工作室 B
15	絵画サークル	アトリエ棟
17	木彫サークル	アトリエ棟
17	バードカービング教室	アトリエ棟
18	第22回丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部審査会	木の館ホール・研修室 A
20	日本画教室	研修室 A
21	木彫り教室（専科）	工作室 B
23	楽苦楽木工教室	工作室 B
24	七転八起木工教室（楽器「カホーン」）	工作室 B
24	絵画教室 学美隊	研修室 B
24	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
24～11/8	第22回丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部展示	木の館ホール
27	日本画教室	研修室 A
28	木彫り教室（中級）	工作室 B
30	楽苦楽木工教室	工作室 B
31	七転八起木工教室	工作室 B
1 1月		
1～4	日本画教室作品展	研修室 A
1	ひょうご森のまつりに参加	川西市
4	木彫り教室（専科）	工作室 B
7	七転八起木工教室	工作室 B
8	第22回丹波の森ウッドクラフト展ジュニアの部表彰式	研修室 A
10	日本画教室	研修室 A
11	工作機械安全点検	工作室
11	木彫り教室（中級）	工作室 B
13	楽苦楽木工教室	工作室 B
14	刃研ぎ塾	工作室 B
14	絵画教室 学美隊	研修室 B
17	日本画教室	研修室 A
18	木彫り教室（専科）	工作室 B
19	絵画サークル	アトリエ棟
21	七転八起木工教室	工作室 B
21	木木市	木の館ホールほか
21	木彫サークル	アトリエ棟
21	バードカービング教室	アトリエ棟
25	木彫り教室（中級）	工作室 B
25	日本画教室	研修室 A
26	木材研修会「木造住宅の劣化とその対策」	県土地改良会館(神戸市)

28	七転八起木工教室	工作室 B
28	絵画教室 学美隊	研修室 B
28	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
12月		
1	日本画教室	研修室 A
2	木彫り教室 (専科)	工作室 B
3	絵画サークル	アトリエ棟
5	七転八起木工教室	工作室 B
5	バードカービング教室	アトリエ棟
6	クリスマスリース教室	研修室 A
8	日本画教室	研修室 A
9	工作機械安全点検	工作室
9	木彫り教室 (中級)	工作室 B
12	七転八起木工教室	工作室 B
12	絵画教室 学美隊	研修室 B
13	レザークラフト教室	アトリエ棟
16	木彫り教室 (専科)	工作室 B
17	ワークショップ「Brunch」(カタカタ車)	工作室 B
17	絵画サークル	アトリエ棟
19	木彫りサークル	アトリエ棟
19	バードカービング教室	アトリエ棟
22	日本画教室	研修室 A
23	木彫り教室 (中級)	工作室 B
24	ワークショップ「Brunch」	工作室 B
26	絵画教室 学美隊	研修室 B
平成22年1月		
6	木彫り教室 (専科)	工作室 B
7	絵画サークル	アトリエ棟
9	刃研ぎ塾	工作室 B
9	絵画教室 学美隊	研修室 B
10	レザークラフト教室	アトリエ棟
13	工作機械安全点検	工作室
13	木彫り教室 (中級)	工作室 B
13	日本画教室	研修室 A
14	ワークショップ「Brunch」	工作室 B
16	木彫りサークル	アトリエ棟
16	バードカービング教室	アトリエ A 棟
19	第6回はがき絵展審査会	研修室 A
19	日本画教室	研修室 A
20	木彫り教室 (専科)	工作室 B
21	絵画サークル	アトリエ棟
23	絵画教室 学美隊	研修室 B
23	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
26	日本画教室	研修室 A
27	木彫り教室 (中級)	工作室 B
30	楽苦楽木工教室 (飾り棚)	工作室 B

30	バードカービング教室	アトリエ棟
2月		
1~4/末	身近な木製品展示	木の館ホール
2	日本画教室	研修室 A
3	木彫り教室 (専科)	工作室 B
4	第 23 回丹波の森ウッドクラフト展実行委員会開催	研修室 A
4	絵画サークル	アトリエ棟
6	楽苦楽木工教室	工作室 B
6	絵画教室 学美隊	研修室 B
9	日本画教室	研修室 A
10	工作機械安全点検	工作室
10	木彫り教室 (中級)	工作室 B
14~28	第 6 回たんばはがき絵展示	木の館ホール
14	レザークラフト教室	アトリエ棟
17	木彫り教室 (専科)	工作室 B
18	絵画サークル	アトリエ棟
20	楽苦楽木工教室	工作室 B
20	木彫りサークル	工作室 B
20	バードカービング教室	アトリエ棟
21	第 6 回たんばはがき絵展表彰式	研修室 A
23	日本画教室	研修室 A
24	木彫り教室 (中級)	工作室 B
27	楽苦楽木工教室	工作室 B
27	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟
3月		
2	日本画教室	研修室 A
3	平成 21 年度丹波年輪の里運営協議会開催	研修室 A
3	木彫り教室 (専科)	工作室 B
4	第 12 回グラウンドゴルフ大会	芝生広場
6~14	第 6 回たんばはがき絵入賞作品展示	南丹市生涯学習センター
6	楽苦楽木工教室	工作室 B
6	バードカービング教室	アトリエ棟
7	刃研ぎ塾	工作室 B
9	日本画教室	研修室 A
10	工作機械安全点検	工作室
10	木彫り教室 (中級)	工作室 B
11	絵画サークル	アトリエ棟
13	絵画教室 学美隊	研修室 B
14	ワークショップ「Brunch」(レーシングカー)	工作室 B
14	レザークラフト教室	アトリエ棟
16	日本画教室	研修室 A
17	木彫り教室 (専科)	工作室 B
18	絵画サークル	アトリエ棟
19~4/11	第 6 回たんばはがき絵入賞作品展示	中央労働センター(神戸)
20	木彫りサークル	工作室 B
20	バードカービング教室	アトリエ棟

21	ワークショップ「Brunch」	工作室 B
23	木材研修会「木材利用の環境貢献」	ラッセホール(神戸市)
24	木彫り教室 (中級)	工作室 B
27	絵画教室 学美隊	研修室 B
27	絵本の読み聞かせ	研修室 A
27	スーパー竹とんぼ教室	アトリエ棟

平成21年度兵庫県立丹波年輪の里運営協議会運営委員

平成22年3月31日現在

(敬称略)

職名	氏名	職名	備考
会長	河合雅雄	丹波の森公苑 名誉公苑長	
副会長	辻重五郎	丹波市長	
委員	足立秀男	連合兵庫丹波地域協議会事務局長	
委員	上田棟次郎	丹波市木材林産協同組合理事長	
委員	上田洋行	丹波市教育長	
委員	内田貞雄	丹波県民局長	
委員	大木豊	丹波市観光協会会長	
委員	荻大陸	京都創成大学教授	
委員	小森真一	ひょうごCSRクラブ丹波支部長	
委員	高見豊	(有) ウッドワーク丹波顧問	
委員	中瀬勲	丹波の森公苑 公苑長	
委員	樋口清一	ささやまの森公園長兼事務局長	
委員	村上康充	丹波市商工会長	
委員	吉見守正	神戸新聞社 丹波総局長	
委員	吉積登	丹波市中央公民館長	

平成21年度兵庫県立丹波年輪の里運営協議会運営委員会開催状況

開催日	開催地	出席者数	協議事項
平成22年3月3日	丹波年輪の里 研修室A	12名 *オブザーバー 3名(県等関係者)	1 平成21年度の事業実施状況について 2 平成22年度の事業計画について

沿革

丹波年輪の里の設置

1 設置目的

木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的とする。

2 沿革

昭和63年	4月	丹波年輪の里竣工式典を挙
	4月	常陸宮ご夫妻ご来苑
	4月	ホロンピア'88「北摂丹波の祭典」のイベントとして *「21世紀をになう青少年祭」(4/17~11/6)を開催
	4月	ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
	8月	入苑者10万人達成
	10月	「第1回全国ウッドクラフト公募展」開催 *第3回国民文化祭ひょうご'88の事業として開催し、以後、 現在まで毎年開催
平成 元年	10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表团来苑 ・「子供娯楽園」を寄贈
	12月	「子供娯楽園」完成
平成 2年	8月	子どもクラフトデーの開催
平成 3年	10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表团来苑
平成 4年	3月	ソーラー時計完成
	5月	開苑5周年記念 ツインツリーの植樹(クロガネモチ)
	9月	「第1回クラフト フェスティバル IN たんば'92」開催 ・平成7年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称 ・現在も継続して開催
	10月	入苑者100万人を突破
平成 5年	4月	アトリエ102-3展
平成 5年	11月	森林文化祭国民会議等参加者来苑 ・ウイーン13区 ハイイツ・ゲルトバッハ区長ほか20名
平成 6年	3月	全国竹とんぼ競技大会 in たんば

平成 7年	2月	阪神・淡路大震災被災者支援「竹とんぼ教室」開催 (開催場所：神戸市灘区・西宮市・伊丹市・宝塚市)
平成 8年	8月	全国産直住宅展
平成 9年	5月	入苑者200万人を突破
	10月	開苑10周年記念 第10回全国ウッドクラフト公募展開催 ・同 記念巡回展開催 11月東京会場 12月神戸会場 ・ 1月愛知春日井会場 1月丹波の森公苑
平成10年	5月	第1回木木市(もくもくいち)開催
平成11年	7月	第1回コパ・カイバラ少年サッカー大会開催
平成11年	11月	ひょうご勤労者Vネット丹波コーディネーターセンター設置(事務所) ・平成14年3月閉鎖
平成12年	6月	CSR 丹波支部事務所再設置
平成13年	3月	ざいもくやさんのフェスティバル開催
平成13年	8月	入苑者300万人を突破
平成14年	4月	開苑15周年・春のフェスティバル開催
平成15年	8月	第10回記念 竹とんぼ競技大会開催
平成16年	7月	イベント広場照明設備の改修
平成17年	3月	「子ども楽園」の解体撤去
平成17年	4月	「ハバロフスクの館」開館(アトリエB棟改修)
平成18年	4月	芝生広場 グラウンドゴルフ開業(水、木、金曜の平日のみ)
	18年 月	第1回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催
平成19年	12月	丹波の森ウッドクラフト展第20回を記念 特別展 「恐竜の世界(集まれ丹波恐竜)」開催
平成21年	4月	指定管理者(財)兵庫丹波の森協会に移管

施設の概要

丹波年輪の里の概要

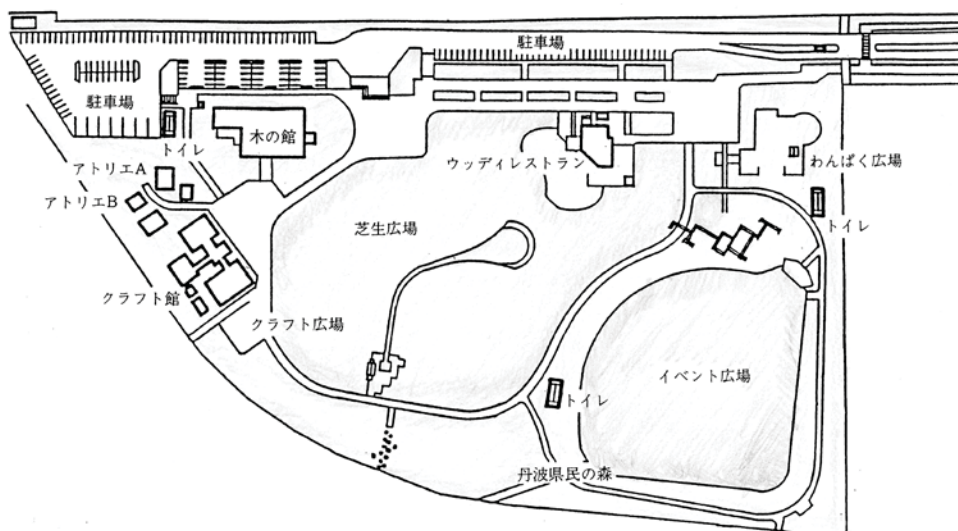
(1) 建物の内訳

名 称	建築面積 (㎡)	内 容
クラフト館	524.88	工作室A・工作室B・木工機械室・研修室B・図書室・休養室・館長室・業務課・受付
木の館	654.48	研修室A・会議室・多目的ホール・図書資料室・総務課・林産指導課事務室・相談室・倉庫
アトリエA	1棟 64.80	2棟 2階建 1階 洋室32㎡・16㎡ 2階 和室20㎡
アトリエB		
ハバロフスクの館	38.88	ロシア・ハバロフスク州紹介の展示 1階 展示室 24㎡・12㎡ 2階 展示室 9㎡
CSR事務所	38.88	CSR 丹波支部 事務室
レストラン	219.51	約60席 ・営業は業者：喫茶軽食 10時～18時

(2) 屋外施設

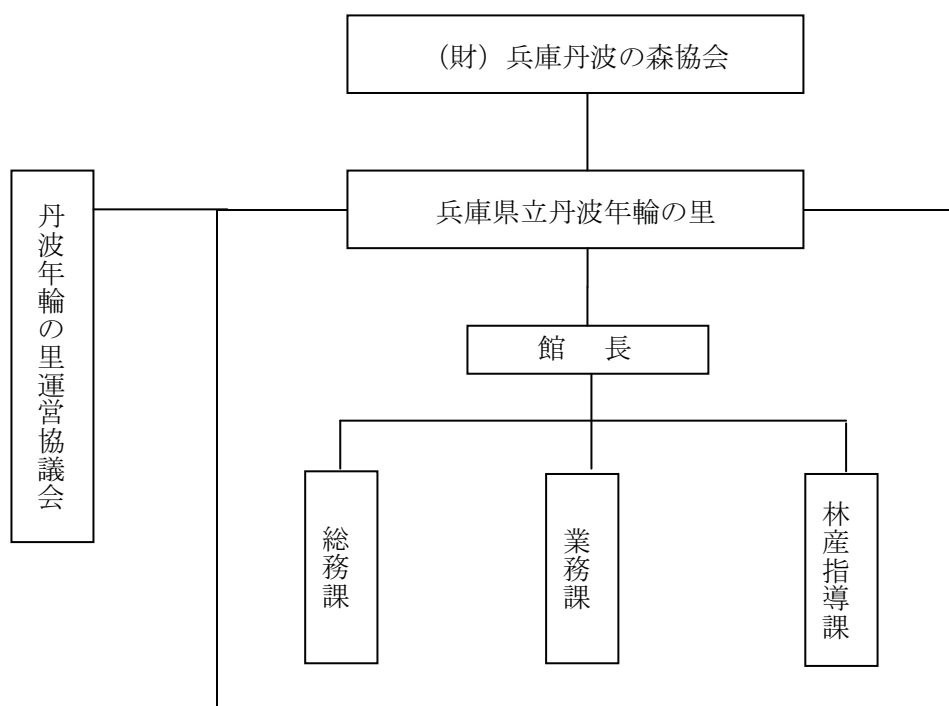
イベント広場	夜間照明設備（照明度平均200ルクス）約80m×約80m
クラフト広場	屋外作業用工作台4台
わんぱく広場	砂場約20㎡、芝生広場、休憩棟1棟、空中回廊・すべり台等
芝生広場	凡そ10000㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹波県民の森	丹波地域旧10町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森。
駐車場	大型バス7台・普通車153台・身障用5台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑



組織と職員

(1) 組織体系



(2) 職員

役 職	氏 名
館 長	荻 野 茂
副参事兼総務課長	山 本 勇 二
総務課係長	谷 口 哲
総務課企画担当	中 野 文 代
総務課経理担当	高 階 正 美
業務課長	館長兼務
業務課係長	東 浦 誠
業務課工作指導員	吉 竹 宏 泰
同上	椎 葉 泰 彦
同上	小 泉 匡
業務課受付担当	拝 野 博 子
同上	西 山 珠 美
林産指導課課長	喜 多 靖 範
林産指導員	富 永 庸 一

利用案内

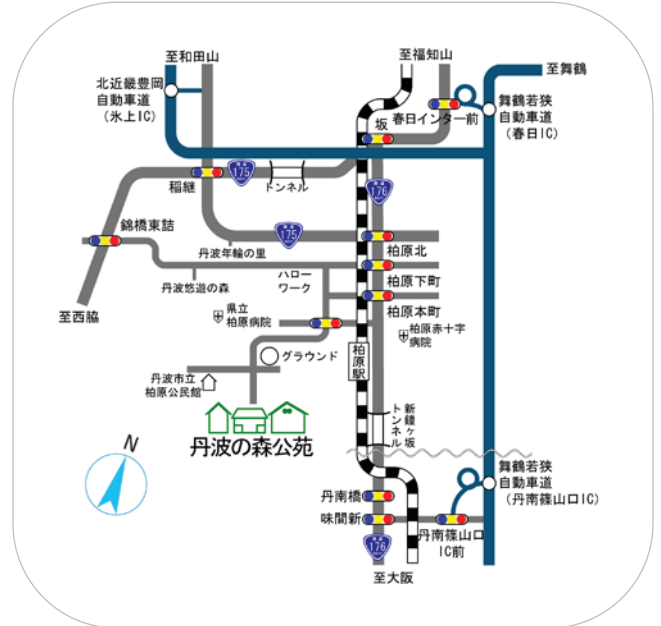
丹波の森公苑

■開園時間 午前9時から午後10時まで

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月1日まで
（ただし、アトリエの継続利用については月曜日も利用可）

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道176号を福知山方面へ25分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日 IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ20分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道175号を福知山方面へ45分

- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



ささやまの森公園

■開園時間 4・5・6・9月 9:00~18:00
7・8月 9:00~19:00
10月~翌3月 9:00~17:00

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月3日まで

■入園料・駐車料 無料

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道372号を亀岡方面へ30分
 - ・京都縦貫自動車道「亀岡 IC」から、国道372号を篠山方面へ40分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道175号を福知山方面へ45分

- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



丹波年輪の里

■開園時間 午前9時から午後9時まで

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口 IC」から、国道 176 号を福知山方面へ 30 分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日 IC」から、国道 175 号・176 号を柏原方面へ 15 分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、柏原青垣線、国道 176 号を篠山方面へ 5 分
 - ・中国自動車道「滝野社 IC」から、国道 175 号を福知山方面へ 40 分
- ◇JR利用
- ・JR 福知山線「柏原駅」下車、車で約 5 分

